

別添資料 2

県民のスポーツに関する実態調査報告書

---

大分県教育委員会

令和 8(2026)年 1 月

---



## はじめに

大分県教育委員会では、平成21年7月に本県のスポーツ振興に関する方針となる「大分県スポーツ推進計画」を策定し、「健康・体力・人づくり」「活動の場づくり」「システムづくり」「基盤づくり」の4つのテーマのもと、様々なスポーツ推進のための施策を展開してまいりました。

その後、平成28年3月に改訂版を策定し、令和2年8月には、令和3年度から令和12年度までを計画期間とする「第2期大分県スポーツ推進計画」を策定しました。

今年度は、この計画期間の中間年にあたることから、本計画の見直しを行うことになり、その見直しに必要な基礎資料として、県民の運動・スポーツ活動の現状などを明らかにするため、県内に居住する10代から80代までの男女5,816人を対象にアンケート調査を行ったところです。

本報告書では、令和2年に実施した前回の調査結果との比較を行いながら、県民の運動・スポーツ活動の実施状況や意識等について考察を加えております。

関係の皆様におかれましては、本報告書をそれぞれの目的や必要性に応じて、さらに分析・検討され、御活用いただければと思います。

結びに、本調査に御協力いただきました関係各位、市町村関係者の方々に深く感謝の意を表します。

令和8年1月

大分県教育委員会教育長 山田 雅文



## 目 次

<b>I 調査の目的</b>	1
<b>II 調査概要</b>	1
1 調査方法	1
2 調査地域	1
3 調査対象	1
4 標本設定	1
5 調査項目	2
6 調査実施期間	2
<b>III 調査企画および実施</b>	2
<b>IV 標本特性</b>	2
<b>V 調査結果（成人調査）</b>	3
1 基本属性	3
2 運動・スポーツ実施状況	4
1) この1年間に行った運動やスポーツ	4
2) 運動・スポーツ活動に対する好き嫌い	4
3) 運動・スポーツ活動を阻害する要因	6
4) 運動・スポーツを実施する意味・理由	6
5) 今後の運動・スポーツの実施意向	7
6) 運動・スポーツ活動を阻害する要因	8
3 運動・スポーツに対する各種意識	9
1) 運動・スポーツに関する各種情報について	9
2) 大分県のスポーツをもっと盛んにするためには	9
3) トップスポーツチームに対する応援度	10
4) 障がい者スポーツに対する関心度（観戦状況）	11
5) 「支えるスポーツ」に対する意識	11
6) 大分県の競技力向上のために必要な環境整備に対する意識	13
4 総合型地域スポーツクラブに対する意識	14
5 日常生活の満足度と運動習慣の関連性	15
<b>VI 調査結果（児童・生徒調査）</b>	16
1 基本属性	16
2 運動・スポーツに対する意識と活動実態	16
1) 運動・スポーツ活動に対する好き嫌い	16
2) 運動・スポーツ活動の実施状況および実施意向	18
3) 「支えるスポーツ」に対する意識	19
3 学校の体育と放課後の活動	21
1) 体育授業に対する好き嫌い	21
2) 放課後の過ごし方と現在行っているスポーツ（活動）に対する意識	22
3) 体力に対する評価	24
4) 家族と一緒に運動やスポーツを行う機会	24
5) 学校の勉強に対する好き嫌い	25
6) トップスポーツを応援する意識	26
7) 障がい者スポーツに対する意識（大分国際車いすマラソン等の観戦状況）	26
8) 総合型地域スポーツクラブに対する意識（認知度と加入意向）	28
9) 居住地に対する愛着度 10) 毎日の朝食摂取の状況 11) 外遊びの状況	30
<b>VII 巻末資料（成人調査票，児童・生徒調査票）</b>	31



## I 調査の目的

県民各層の運動・スポーツに関する実施状況と意識（ニーズ）を把握し、現在進行中である「第2期大分県スポーツ推進計画」の見直しに向けた基礎資料とする。

## II 調査概要

- 1 調査方法 郵送法による質問紙調査法・Google フォームを用いたWEB 調査法
- 2 調査地域 大分県全市町村
- 3 調査対象 県内に居住する年齢10歳以上の男女
- 4 標本設定
  - 1) サンプル 5,816人
  - 2) 抽出方法 県内全域を対象に住民基本台帳から確立比率2段階抽出法により無作為に抽出した。最終的な各市町村および各年齢層の抽出数は表1のとおりである。

表1 今回調査における各市町村および各年齢層の抽出数一覧

県 計	1,076,955	人口 比率	①総標 本数	②年代別 標本数	③年代別標本数(名)									④総標 本数 (修正)	
					小	中	高	18~ 29歳	30代	40代	50代	60代	70代		80代
大分市	468,584	0.435	2,480	248	153	152	120	260	260	260	260	260	260	260	2,245
別府市	111,435	0.103	590	59	40	34	40	70	70	70	70	70	70	70	604
中津市	80,360	0.075	425	43	11	17	40	52	52	52	52	52	52	52	432
日田市	58,274	0.054	308	31	28	12	40	39	39	39	39	39	39	39	353
佐伯市	61,021	0.057	323	32	29	38	40	40	40	40	40	40	40	40	387
臼杵市	32,988	0.031	175	17	17	11	40	19	19	19	19	19	19	19	201
津久見市	14,094	0.013	75	7	23			9	9	9	9	9	9	9	86
竹田市	18,023	0.017	95	10	2	7	40	12	12	12	12	12	12	12	133
豊後高田市	21,328	0.020	113	11	8	4	40	13	13	13	13	13	13	13	143
杵築市	25,600	0.024	135	14	8	26	40	16	16	16	16	16	16	16	186
宇佐市	49,350	0.046	261	26	8	22	40	28	28	28	28	28	28	28	266
豊後大野市	30,601	0.028	162	16	15	12		18	18	18	18	18	18	18	153
由布市	32,309	0.030	171	17	8	36		19	19	19	19	19	19	19	177
国東市	23,900	0.022	126	13	17	16		15	15	15	15	15	15	15	138
姫島村	1,484	0.001	8	1		6		3	3	3	3	3	3	3	27
日出町	27,043	0.025	143	14	27	29		16	16	16	16	16	16	16	168
九重町	7,598	0.007	40	4	5			6	6	6	6	6	6	6	47
玖珠町	12,963	0.012	69	7	14			8	8	8	8	8	8	8	70
合 計	—	1	5,700	570	413	422	480	643	643	643	643	643	643	643	5,816



## 5 調査項目

調査は、18歳以上の一般県民を対象とした「成人調査」と小学5年生、中学2年生、高校2年生を対象とした「児童・生徒調査」の2種類を実施した。

### 1) 成人調査の内容

- ① 運動やスポーツに対する実施状況
- ② スポーツに対する各種意識
- ③ 日常生活に対する満足度等

### 2) 児童・生徒調査の内容

- ① 運動やスポーツに対する各種意識
- ② 体育授業、運動部活動に対する各種意識
- ③ 運動やスポーツの実施状況等

## 6 調査実施期間 令和7年10月7日～11月14日

## III 調査企画および実施

企 画 大分県教育庁体育保健課

実 施 一般社団法人日本スポーツプロモーション研究所（調査責任者 大分大学教授 谷口勇一）

## IV 標本特性

回収された標本数は「成人調査」1,615部（回収率35.9%）と「児童・生徒調査」1,338部（回収率101.7%）であった。「成人調査」「児童・生徒調査」の各有効回収数および率は表2、表3のとおりである。なお、以降の調査結果報告は、「成人調査」「児童・生徒調査」の順に分けて行うこととする。

表2 成人調査の標本回収状況

市町村名	対象者数	回収数	回収率
大 分 市	1,820	681	37.4
別 府 市	490	139	28.4
中 津 市	364	126	34.6
日 田 市	273	94	34.4
佐 伯 市	280	90	32.1
白 杵 市	133	44	33.1
津 久 見 市	63	20	31.7
竹 田 市	84	31	36.9
豊 後 高 田 市	91	29	31.9
杵 築 市	112	38	33.9
宇 佐 市	196	75	38.3
豊 後 大 野 市	126	52	41.3
由 布 市	133	53	39.8
国 東 市	105	43	41.0
姫 島 村	21	13	61.9
日 出 町	112	46	41.1
九 重 町	42	20	47.6
玖 珠 町	56	21	37.5
計	4,501	1,615	35.9

表3 児童・生徒調査の標本回収状況

	市町村名	対象者数	回収数	回収率	
大分	大 分 市	425	396	93.2	
	白 杵 市	68	49	72.1	
	津 久 見 市	23	28	121.7	
	由 布 市	44	46	104.5	
	別 府 市	114	60	52.6	
別府	杵 築 市	74	71	95.9	
	国 東 市	33	29	87.9	
居住区 (教育事務所 管内区分)	姫 島 村	6	7	116.7	
	日 出 町	56	62	110.7	
	中 津 市	68	60	88.2	
	中津	豊 後 高 田 市	52	45	86.5
	宇 佐 市	70	71	101.4	
	日 田 市	80	207	258.8	
	日田	九 重 町	5	15	300.0
	玖 珠 町	14	25	178.6	
	佐伯	佐 伯 市	107	106	99.1
	竹田	竹 田 市	49	22	44.9
	豊 後 大 野 市	27	39	144.4	
	計	1,315	1,338	101.7	



## V 調査結果(成人調査報告)

### 1 基本属性

表4 性別・年代別の構成

		n	%
性別	男性	740	45.9
	女性	865	53.7
	回答無し	7	0.4
	計	1,615	100.0
年齢	18-29歳	146	9.1
	30歳代	191	11.8
	40歳代	215	13.3
	50歳代	230	14.3
	60歳代	299	18.5
	70歳代	277	17.2
	80歳代	255	15.8
	計	1,615	100.0

表5 現住所での居住年数

	n	%
1年未満	50	3.1
1～5年未満	145	9.0
5～10年未満	124	7.7
10～20年未満	226	14.0
20年以上	783	48.6
生まれてからずっと	283	17.6

表6 職業(複数回答)

	n	%
農林漁業	53	3.3
会社・工場・公官庁に勤務	559	34.7
個人で商店、工場、サービス業等を経営	69	4.3
アルバイト・パート	232	14.4
専業主婦	233	14.5
大学生	30	1.9
無職	341	21.2
その他	92	5.7

「成人調査」の分析対象者の基本属性を表4～6に示す。

性別、年代別の構成は県民人口構成とほぼ同様の傾向である。よって以降の各分析結果は、県民の意識と実態を反映するものと捉えることが可能である。

なお、以下の分析では、「性別」および「年代別」の傾向を中心に、適宜、2020（令和2）年の調査と比較しつつ報告していくこととする。



## 2 運動・スポーツの実施状況および実施意向

### 1) この1年間に行った運動やスポーツ

今回調査ではまず、この1年間に行った運動・スポーツ種目を複数回答で訊ねている(表7)。

表7 実施している運動・スポーツ種目(複数回答・%)

		上位種目(下段は%)				
		1位	2位	3位	4位	5位
前回合計 (2020年)		ウォーキング 62.5	体操(ラジオ体操) 23.8	その他 15.1	ジョギング・ランニング 14.9	自転車(サイクリング含む) 13.8
全体		ウォーキング 57.2	体操(ラジオ体操) 18.3	その他 11.9	ジョギング・ランニング 11.5	自転車(サイクリング含む) 10.0
性別	男性	ウォーキング 54.0	ジョグ・ランニング 18.5	釣り 15.3	体操(ラジオ体操) 14.9	ゴルフ 13.9
	女性	ウォーキング 59.9	体操(ラジオ体操) 21.5	その他 14.7	自転車(サイクリング含む) 7.5	なわとび 6.3
年齢	18-29歳	ウォーキング 56.8	ジョギング・ランニング 23.3	自転車(サイクリング含む) 18.5	ハレーボール 18.5	ボウリング 17.8
	30歳代	ウォーキング 50.3	ジョギング・ランニング 23.3	キャンプ 13.8	釣り 13.7	自転車(サイクリング含む) 13.2
	40歳代	ウォーキング 56.8	自転車(サイクリング含む) 14.1	ジョグ・ランニング 13.1	体操(ラジオ体操) 11.7	その他 10.8
	50歳代	ウォーキング 63.3	体操(ラジオ体操) 16.7	その他 11.9	自転車(サイクリング含む) 10.8	釣り 10.1
	60歳代	ウォーキング 60.0	体操(ラジオ体操) 21.4	その他 10.1	自転車(サイクリング含む) 9.2	釣り 8.8
	70歳代	ウォーキング 61.5	体操(ラジオ体操) 22.9	その他 15.9	グラウンドゴルフ 11.3	ゴルフ 9.5
	80歳代	ウォーキング 49.0	体操(ラジオ体操) 25.5	グラウンドゴルフ 15.5	その他 12.7	卓球 6.4

全体結果で上位となった種目は「ウォーキング」57.2%、「体操(ラジオ体操)」18.3%、「その他」11.9%、「ジョギング・ランニング」11.5%、「自転車(サイクリング含む)」10.0%であった。なお、「その他」の種目としては「ヨガ」「ピラティス」「健康(美容)体操」等が女性において特徴的であった。これと同様の設問がスポーツ庁調査でもなされており、結果としては、「ウォーキング」62.1%、「トレーニング」13.3%、「体操(ラジオ体操)」12.6%が上位種目となっている。

また、前回調査(2020年)と比較しても大きな変化はなく、「70歳代」「80歳代」において、「グラウンドゴルフ」が盛んに行われていることも確認できた。

### 2) 運動・スポーツ活動に対する好き・嫌い

まず、県民の「運動・スポーツ活動の実施に対する好き嫌い」の意識を訊ねた(図1)。

全体結果としては、「大変好きである」が16.4%、「どちらかといえば好きである」が47.1%であり、運動・スポーツ活動を好意的に捉えている割合は、63.5%と高いことがわかった。但し、前回調査(2020年)よりも、この数値は若干低下している。この傾向は、性別では「男性」、また年代別では「80歳代」において顕著であることがわかる。

次に、県民の「運動・スポーツを観ること(観戦や視聴)に対する好き嫌い」の意識を訊ねた(図2)。

全体結果としては、「大変好きである」が29.6%、「どちらかといえば好きである」が45.3%であり、運動・スポーツ活動の観戦や視聴を好意的に捉えている割合は、74.9%と実施に対する意識よりも高いことがわかった。この数値は、前回調査(2020年)とほぼ同数であった。

この傾向は、性別では「男性」、また年代別では「60歳代」「70歳代」「80歳代」において顕著であることがわかった。

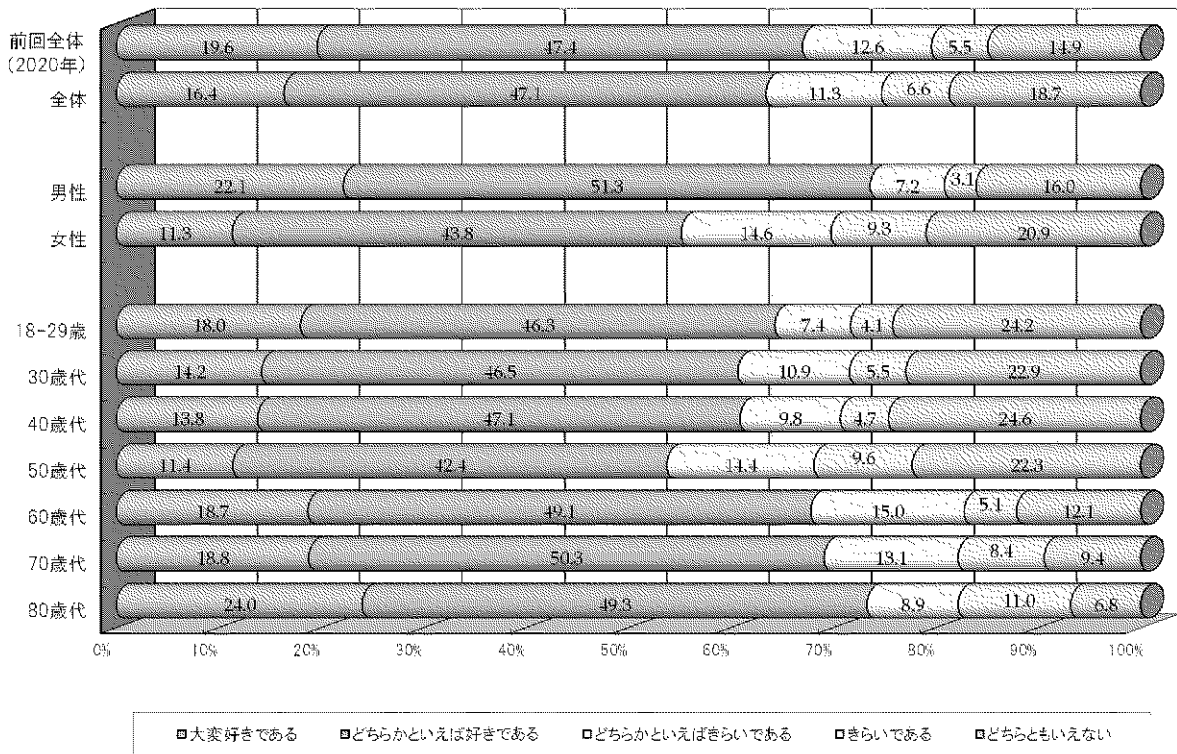


図1 運動・スポーツ活動の実施に対する好き嫌いの意識(%)

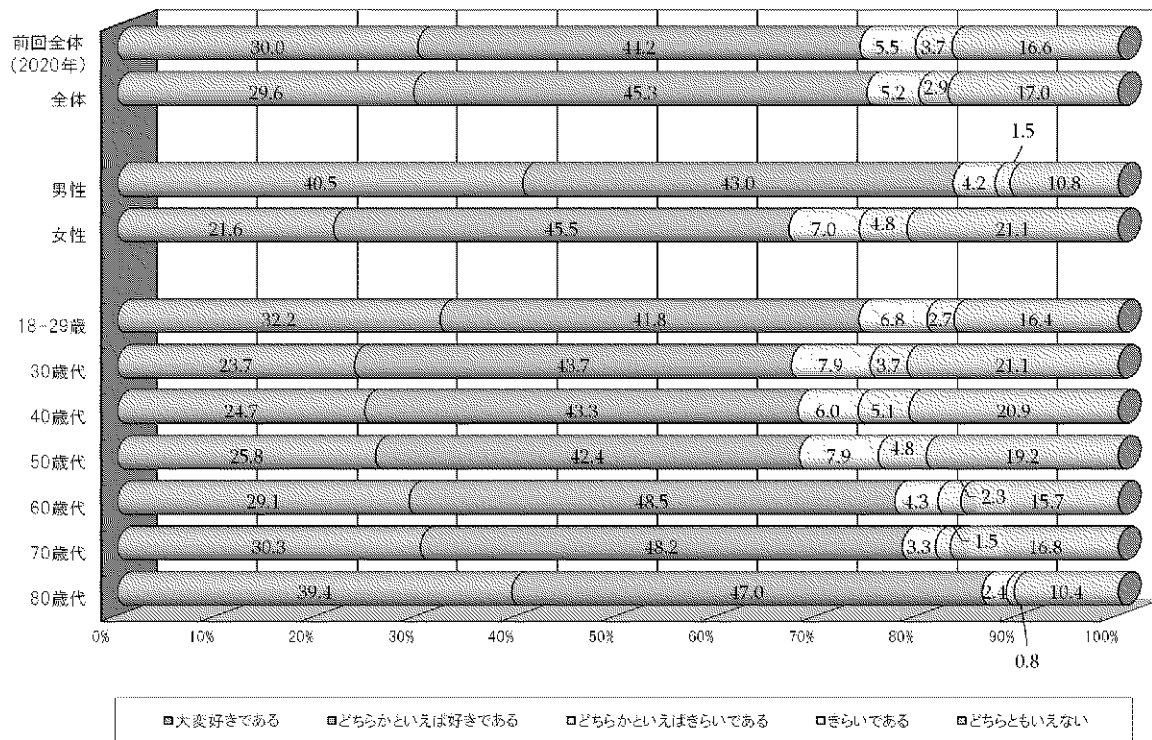


図2 運動・スポーツを見ること(観戦や視聴)に対する好き嫌いの意識(%)



### 3) 運動・スポーツ活動の実施状況

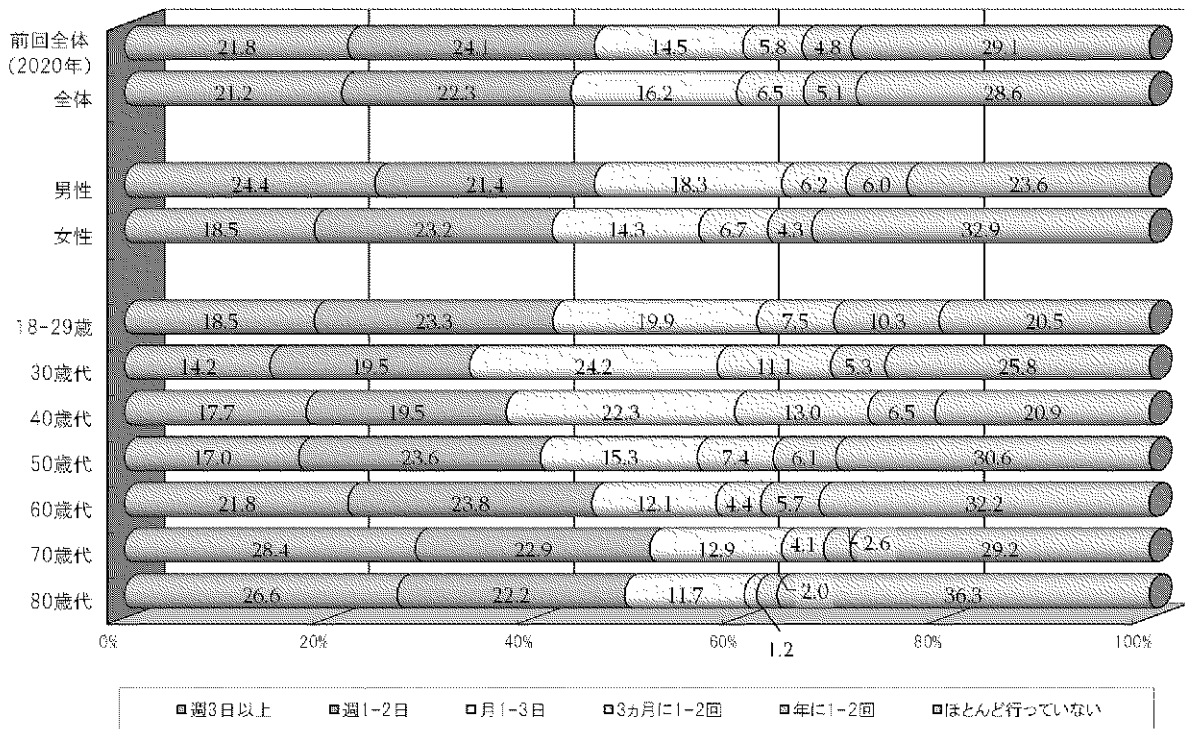


図3 運動・スポーツ活動の実施状況(%)

県民の「運動・スポーツ活動の実施状況」を訊ねたところ、全体結果では、「週3日以上」21.2%、「週1~2日」22.3%であった(図3)。

以上の回答カテゴリーは、「定期的な運動・スポーツ実践頻度」であり、本県では43.5%となった。この結果は、前回調査(2020年)の結果(45.9%)と比較して2.4ポイント低くなった。また、国が目標とする数値(70%程度)に比べるとかなり低い状況にある。なお、令和6年度にスポーツ庁が報告した「スポーツの実施状況等に関する世論調査」では、全国における20歳以上の「週1日以上」の運動・スポーツ実施率は52.7%であった。最新の全国動向と比較しても本県の数値は低い状況にある。

### 4) 運動・スポーツを実施する意味・理由

運動・スポーツ活動はどのような意味や理由で行われているのか。

全体結果で高い数値を示した項目としては、「健康・体力づくりのため」73.9%、「楽しみや気晴らしのため」45.7%、「運動不足を感じるため」44.7%、「友人・仲間との交流のため」27.6%等であった(表8)。なお、スポーツ庁調査(2024)においても同一の質問が設定されており、そこでは、「健康のため」80.6%、「体力増進・維持のため」55.4%、「運動不足を感じるから」44.1%等の項目が上位にあがっており、本県調査とほぼ符合する結果である。

また、前回調査(2020年)でも、「健康・体力づくりのため」は81.8%と最上位であり、県民においては、依然として運動・体力づくりを目的としたスポーツ実践が積極的になされようとしていることがわかる。



表 8 運動・スポーツを行っている理由（複数回答・％）

項目	前回全体 (2020年)	全体	性別		年齢						
			男性	女性	18-29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
健康・体づくりのため	81.8	73.9	72.6	75.1	66.4	69.6	79.5	80.3	77.9	74.3	66.1
楽しみや気晴らしのため	52.9	45.7	49.6	42.5	54.1	54.5	54.0	47.6	44.6	42.0	31.1
運動不足を感じるため	39.3	44.7	39.6	49.0	32.2	40.3	45.1	53.3	48.0	48.6	38.2
友人・仲間との交流のため	38.5	27.6	31.3	24.6	30.1	28.3	25.6	20.1	22.1	32.2	35.8
美容や肥満解消のため	24.1	20.6	12.6	27.5	32.9	24.1	28.8	34.1	20.1	10.1	3.5
自然とふれあうため	18.6	14.5	15.4	13.7	15.1	9.9	12.6	10.5	17.1	18.5	15.7
家族とのふれあいのため	12.8	11.4	9.3	13.1	14.4	22.5	24.7	10.0	8.7	3.3	3.1
自己の記録や能力を向上させるため	9.9	6.5	9.9	3.7	17.8	11.5	4.7	4.8	4.7	5.1	3.1
精神修養や訓練のため	6.8	4.7	6.6	3.1	8.2	9.4	5.1	3.5	4.4	3.6	1.6
その他	2.4	1.7	12.9	1.6	1.4	2.1	0.5	1.3	2.0	1.8	2.8

※複数回答であるため、全体結果を先に降順並び替え処理を実施している。

### 5) 今後の運動・スポーツの実施意向

県民の週1H以上の定期的な運動・スポーツ実施率は、全国平均と比較すると若干低い結果であったが、「今後の運動・スポーツ活動の実施意向」について訊ねた（図4）。

全体結果としては、「週3日以上」29.0%、「週1～2日」35.3%となり、これらの数値を合わせた64.3%の者が「定期的な運動実践」を志向していることがわかった。前回調査（2020年）の結果（「週3日以上」27.0%、「週1～2日」37.0%）と比較すると県民の今後の運動・スポーツ実施に対する意識は若干ながら高くなっている。

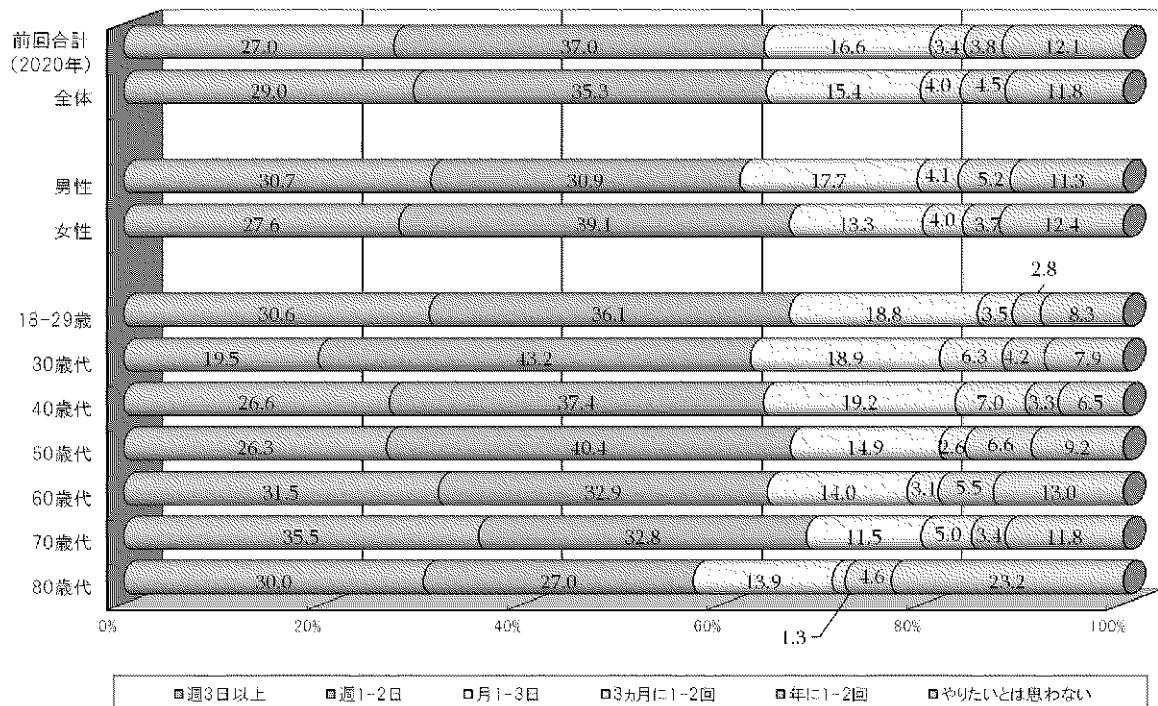


図 4 今後の運動・スポーツの実施意向（％）



図4の結果を踏まえ、県民が今後行ってみたいと考えている運動・スポーツ種目を複数回答で訊ねた(表9)。

全体結果では、表8でみた「現在実施している運動・スポーツ種目」と同様に、「ウォーキング」51.0%が第1位であった。以下、「体操(ラジオ体操)」14.5%、「ジョギング・ランニング」11.8%、「登山」10.4%、「自転車(サイクリング含む)」10.3%である。年代別の傾向では、「18~29歳」「30歳代」「40歳代」の上位に「キャンプ(野外活動)」があがっていること、「70歳代」「80歳代」で「グラウンドゴルフ」が上位になっていること等が特徴的といえよう。

表9 今後行いたい運動・スポーツ種目(複数回答・%)

		上位種目(下段は%)				
		1位	2位	3位	4位	5位
前回合計 (2020年)		ウォーキング 54.2	体操(ラジオ体操) 15.3	ジョギング・ランニング 14.3	登山 14.0	自転車(サイクリング含む) 13.8
全体		ウォーキング 51.0	体操(ラジオ体操) 14.5	ジョグ・ランニング 11.8	登山 10.4	自転車(サイクリング含む) 10.3
性別	男性	ウォーキング 45.4	ジョグ・ランニング 16.3	釣り 14.2	ゴルフ 13.9	自転車(サイクリング含む) 13.9
	女性	ウォーキング 55.8	体操(ラジオ体操) 17.8	水泳 11.0	卓球 11.0	ダンス 10.5
年齢	18-29歳	ウォーキング 32.2	ジョグ・ランニング 21.2	水泳 17.8	スノーボード 17.8	キャンプ 17.1
	30歳代	ウォーキング 35.3	ジョグ・ランニング 19.8	釣り 16.6	キャンプ 15.5	水泳 12.8
	40歳代	ウォーキング 45.3	ジョグ・ランニング 20.6	自転車(サイクリング含む) 15.3	キャンプ 15.4	登山 15.4
	50歳代	ウォーキング 58.5	登山 14.0	水泳 13.5	体操(ラジオ体操) 13.5	ジョグ・ランニング 11.4
	60歳代	ウォーキング 54.2	体操(ラジオ体操) 20.7	登山 12.3	水泳 10.2	卓球 10.2
	70歳代	ウォーキング 66.5	体操(ラジオ体操) 19.3	グラウンドゴルフ 13.8	自転車(サイクリング含む) 10.2	釣り 9.5
	80歳代	ウォーキング 50.8	体操(ラジオ体操) 23.4	グラウンドゴルフ 20.2	卓球 14.3	その他 9.9

### 6) 運動・スポーツ活動を阻害する要因

図3において、県民の運動・スポーツ活動の実施状況は全国平均と比較したとき、低い状況であることを確認した。では、県民が運動・スポーツを行おうとする際、いかなる障害や阻害要素が存在しているのか。上位の項目としては、「仕事の事情」35.5%、「その他」33.8%（「年をとっている」、「身近に施設がない」等があがっていた）、「費用に関する事情」24.0%等であった。なかでも、男性における「仕事の事情」、女性における「家庭の事情(子育て等)」が顕著に高い数値となっていることから、当該項目に関する今後の支援策が必要となってくるであろう。

表10 運動・スポーツを行う際に困っていること、妨げになっていること(複数回答・%)

項目	全体	性別		年齢						
		男性	女性	18-29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
仕事の事情	35.5	42.2	29.7	50.0	59.0	50.0	53.3	38.8	19.9	9.5
その他	33.8	34.0	33.9	19.2	16.7	17.6	23.7	32.4	42.5	57.4
費用に関する事情	24.0	21.0	26.4	44.2	32.1	35.3	25.9	26.5	17.7	8.9
仲間の事情(仲間がない等)	18.2	16.7	19.3	38.5	17.9	13.7	13.3	15.5	22.1	17.8
家庭の事情(子育て等)	15.7	9.2	21.1	11.5	39.7	40.2	14.1	8.7	8.8	8.9

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。



### 3 運動・スポーツに対する各種意識

#### 1) 運動・スポーツに関する各種情報について

県民は、運動・スポーツに関する情報として、具体的にはどのような事柄を期待しているのかを把握する目的から質問項目を設定した。

表 11 県民が期待している運動・スポーツに関する情報（複数回答・%）

項目	前回全体 (2020年)	全体	性別		年齢							
			男性	女性	18-29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	
健康・体力づくりなどの情報	50.6	51.2	44.4	57.1	32.2	36.0	38.6	54.1	60.0	66.0	59.5	
スポーツ行事・イベントの情報	21.6	28.3	33.9	23.6	31.5	35.4	34.8	31.4	29.3	21.6	15.5	
新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報	28.3	27.0	22.3	31.2	28.0	24.9	31.9	30.0	29.3	24.6	19.5	
スポーツ施設の案内	21.4	26.9	28.2	25.8	30.8	37.6	36.7	32.3	27.5	16.4	9.5	
各種スポーツ教室の案内	21.9	20.5	14.3	26.0	24.5	25.4	19.3	22.7	26.1	15.5	10.0	
参加できるスポーツ競技会の情報	16.5	19.8	22.6	17.5	30.1	21.7	19.8	14.1	17.5	17.2	23.0	
スポーツに関する医学的・科学的な情報	13.3	16.0	16.9	15.2	16.8	19.6	17.4	13.6	17.5	17.6	9.5	
クラブ同好会などの活動案内	11.2	11.9	12.2	11.7	31.5	16.9	10.6	9.5	9.3	6.9	6.5	
その他	5.3	5.3	6.7	4.2	3.5	5.3	5.3	3.6	3.9	5.3	11.0	
各種スポーツ指導者の紹介	3.9	4.2	3.9	4.4	9.8	6.9	2.9	3.6	3.9	2.0	2.5	

※複数回答であるため、合計結果をもとに各期待が持てるも理を実施している。

複数回答で訊ねた結果、上位には「健康・体力づくりなどの情報」51.2%、「スポーツの行事・イベントの情報」28.3%、「新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報」27.0%があがっている（表11）。

これらは、前回調査（2020年）の上位項目でもあることから、県民が期待する運動・スポーツ情報に対する意識はほぼ同様のものであるといえる。但し、「スポーツ施設の案内」に関しては、前回調査（2020年）よりも5.5ポイント上昇の26.9%となった。県内においてはこの5年間、県立ならびに各市町村立のスポーツ施設の改修・新設が進んでいる。それらの施設情報への関心が高まっているものと推察できる。

#### 2) 大分県のスポーツをもっと盛んにするためには

表 12 大分県の競技力向上に必要と思われる条件整備とは（平均値）

項目	前回全体 (2020年)	全体	性別		年齢							
			男性	女性	18-29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	
地域で身近に利用できるスポーツ施設の整備	3.36	3.34	3.37	3.35	3.58	3.40	3.40	3.42	3.25	3.27	3.34	
スポーツ情報の提供	2.97	3.11	2.95	2.99	3.06	2.98	3.02	3.00	2.94	2.91	2.90	
気軽にスポーツが行える地域のスポーツクラブづくり	3.11	3.10	3.06	3.16	3.30	3.19	3.13	3.16	3.03	3.05	2.99	
地域にスポーツのリーダーや指導者の配置	2.91	3.10	2.87	2.95	2.81	2.80	2.92	2.96	2.89	3.01	2.97	
学校の先生以外の指導者が運動部活動の指導にあたる	3.05	3.08	3.01	3.08	3.03	3.11	3.06	3.13	2.98	3.03	3.00	
競技向上のため、優れた指導者の養成や選手育成	2.93	2.94	2.91	2.95	2.96	2.85	2.93	2.98	2.90	2.95	3.01	
健康に関する教室や講演会の開催	2.88	2.92	2.83	2.92	2.72	2.56	2.79	2.96	2.94	3.06	3.08	
小学校への体育専門教員の配置	2.89	2.91	2.85	2.92	2.79	2.86	2.86	2.96	2.86	2.95	2.87	
高等学校の運動部活動の充実	3.12	2.89	3.13	3.10	3.24	3.03	3.08	3.09	3.11	3.15	3.19	
中学校の運動部活動の充実	3.15	2.84	3.14	3.11	3.21	3.07	3.12	3.09	3.10	3.18	3.20	
国民スポーツ大会での総合成績の向上	2.63	2.70	2.57	2.68	2.70	2.49	2.59	2.61	2.58	2.72	2.86	
プロスポーツに対する経済的支援	2.72	2.62	2.63	2.79	2.85	2.77	2.77	2.78	2.66	2.57	2.68	
国際的なスポーツイベントの積極的誘致	2.71	2.59	2.69	2.73	2.75	2.70	2.83	2.82	2.58	2.61	2.74	

14 「大変重要だと思う」と「まったく重要とは思わない」の回答方法であったため、平均値を算出し、数値の高い順に並び替えを行っている。

県民は、大分県のスポーツが盛んになることに対してどのような意識を持っているのかを把握する目的から、13項目にわたる関連項目を設定し、それぞれに対する重要性の程度を「4 大変重要だと思う」



から「1 まったく重要とは思わない」の4段階で回答を求めた。

以下では、それらの回答数値の平均値を算出し、高い順に並び替えた結果を示す(表12)。

重要性の程度を強く感じていることとなる平均値の高い項目をみると、「地域で身近に利用できるスポーツ施設の整備」3.34、「スポーツ情報の提供」3.11、「気軽にスポーツが行える地域のスポーツクラブづくり」「地域にスポーツのリーダーや指導者の配置」3.10等が上位にあがっている。

これらの項目は、前回調査(2020年)であがっていた上位項目とほぼ同様であるものの、「中学校の運動部活動の充実」「高等学校の運動部活動の充実」の数値は低下している。

### 3) トップスポーツチームに対する応援度

大分県で活動するトップスポーツチーム(大分トリニータ、バサジィ大分、大分B-リングス、スパークルおおいた)に対して県民がどの程度応援しているのかを訊ねた。

全体結果は、「熱心に応援している」4.8%、「まあまあ応援している」37.8%、「あまり関心がない」40.2%、「まったく関心がない」17.2%であった(図5)。以上の結果からは、トップスポーツチームに対する応援度が、前回調査(2020年)時と比較して、低下していることがわかった。

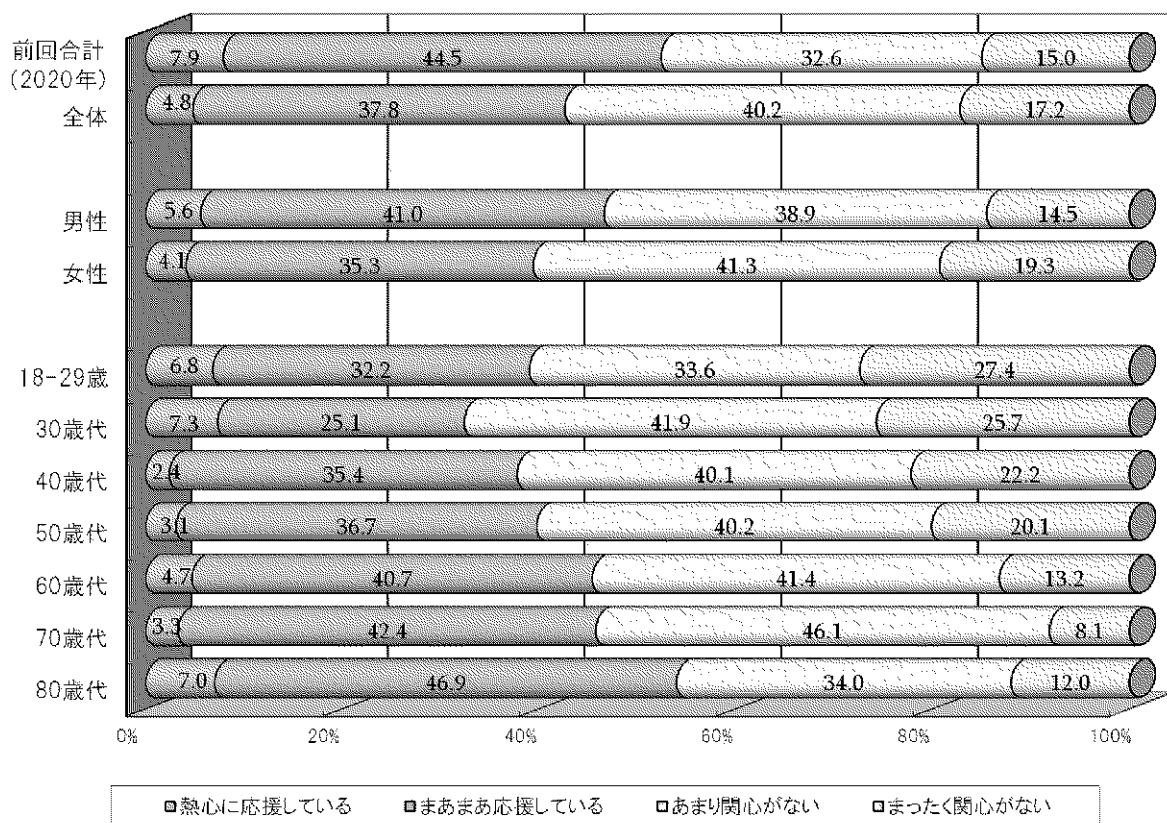


図5 トップスポーツチームに対する応援度 (%)



#### 4) 障がい者スポーツ観戦状況

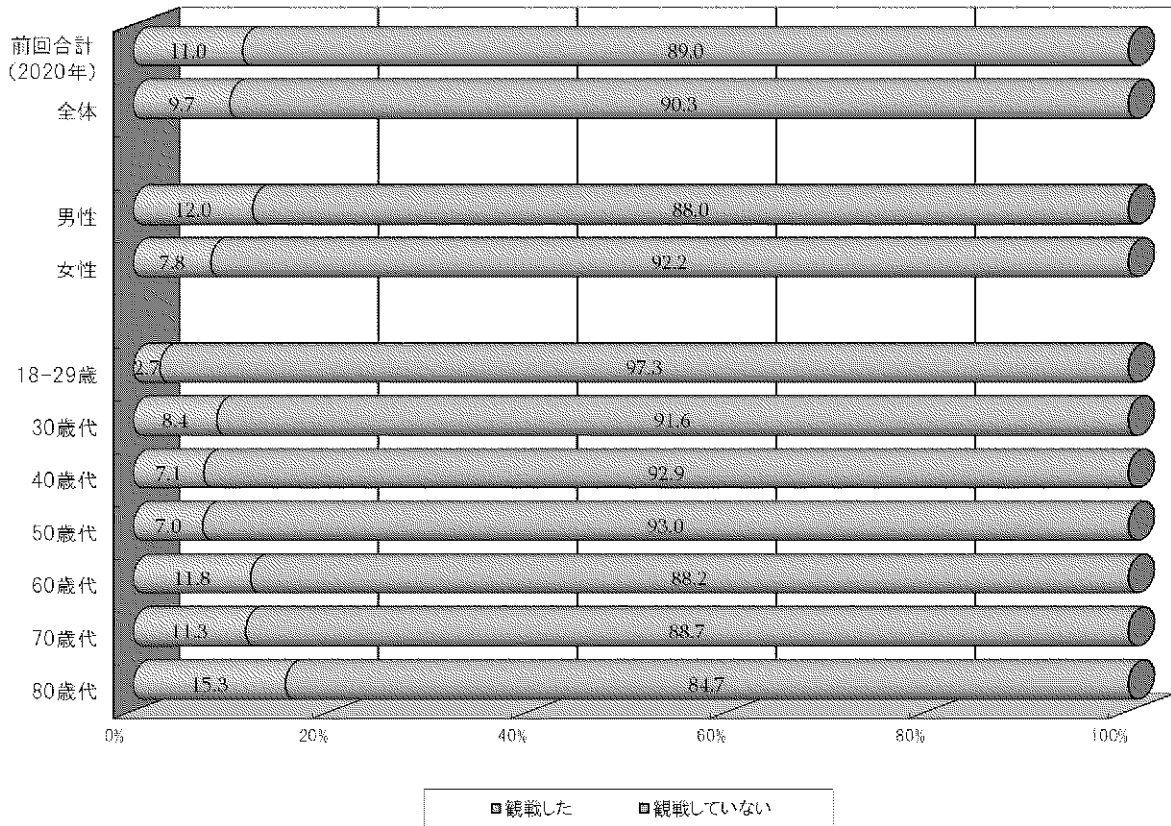


図6 障がい者スポーツ(大分国際車いすマラソン等)の観戦状況 (%)

大分国際車いすマラソンをはじめとした障がい者スポーツの観戦状況を見ると、全体結果では、「観戦した」9.7%、「観戦していない」90.3%であった(図6)。「観戦した」の数値は、前回調査(2020年)よりもわずかではあるが減少している。但し、年代別では、高齢になるほど「観戦した」の数値が高い傾向にあることがわかった。

#### 5) 「支えるスポーツ」に対する意識

この1年間にスポーツにかかわるボランティア活動を行った割合をみると、全体結果では、「ある」8.4%、「ない」91.6%であった(図7)。前回調査(2020年)とさほど変化はみられない。

図7の結果を受け、この1年間にスポーツにかかわるボランティア活動に参加したことがあると回答した8.4%の者に対する該当者のみの質問として、具体的にはどのような活動に参加したのかを複数回答で訊ねた。

最も高い数値は、「クラブやスポーツ団体の運営や活動の手伝い」と「大会やイベントなどでの一般的な支援」の41.2%であり、次いで、「スポーツの指導・コーチ」23.5%等であった(表13)。上位3項目ともに、前回調査(2020年)と同様に上位にあがっている。

県民の今後のスポーツにかかわるボランティア参加意向について訊ねた(図8)。

全体結果としては、「機会があればしてみたい」が45.9%で最も高く、積極的な参加意向を示す「してみたい」は3.7%にとどまっている。しかしながら、前回調査(2020年)同様、半数に近い者が「機会があればしてみたい」と回答していることは、県民の多くに潜在的なボランティア参加意識があるこ



とを確認することとなり、今後、これらの県民に対する適切な働きかけがなされさえすれば、「支えるスポーツ」人口の増大をはかることが可能と考えられる。

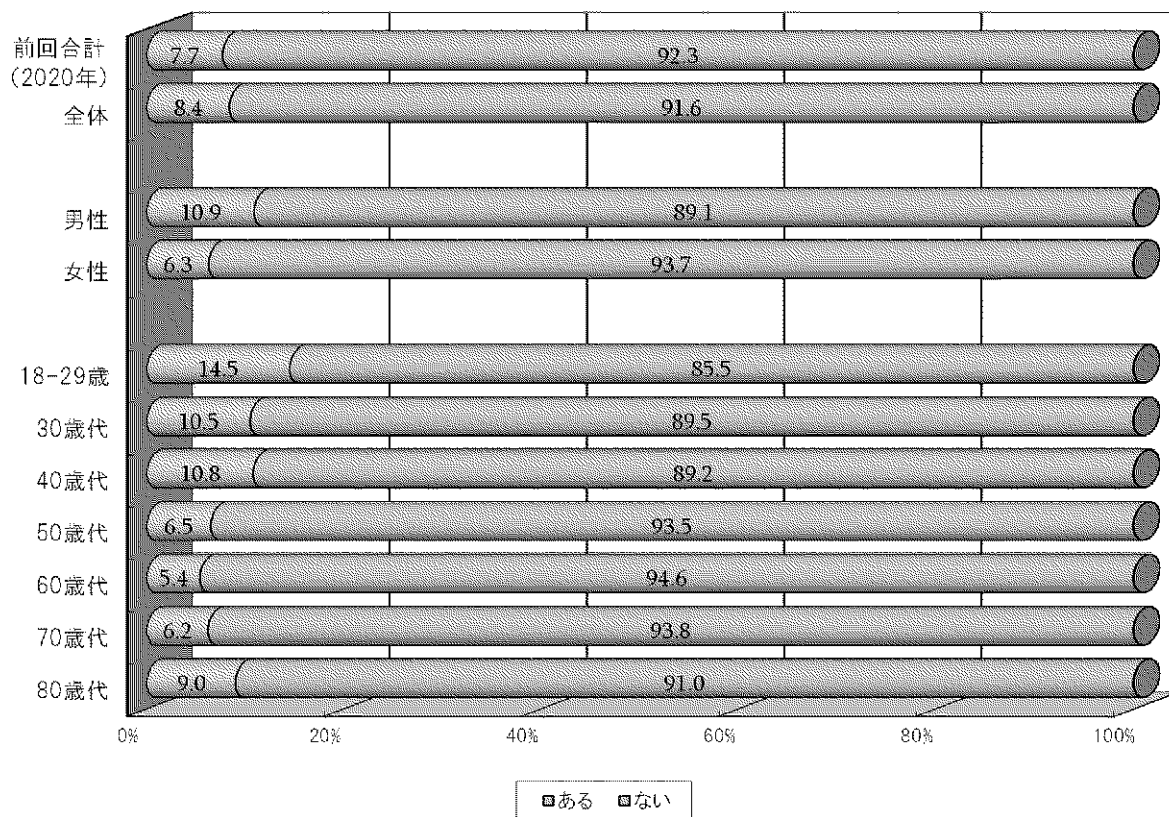


図7 スポーツにかかわるボランティア参加の状況 (%)

表13 【該当者のみの質問】 参加したボランティア活動の内容 (n=134, 複数回答・%)

項目	前回全体 (2020年)	全体	性別		年齢							
			男性	女性	18-29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	
クラブやスポーツ団体の運営や活動の手伝い (クラブ役員, 世話役, 運搬・運転など)	43.8	41.2	38.3	45.5	19.0	40.0	47.8	43.8	50.0	38.9	50.0	
大会やイベントなどでの一般的な支援 (受付・案内, 記録・掲示, 接待, 運搬・運転など)	45.3	41.2	40.7	41.8	52.4	30.0	30.4	37.5	50.0	50.0	40.0	
スポーツの指導・コーチ	24.8	23.5	30.9	12.7	33.3	30.0	30.4	31.3	18.8	16.7	4.6	
スポーツ施設の管理や手伝い (清掃, 用具の準備・後片付け, 車の誘導など)	22.6	20.6	22.2	18.2	23.8	15.0	26.1	25.0	12.5	5.6	31.8	
大会やイベントなどにおいて専門的な立場からの支援 (審判員, データ処理, 通訳など)	19.7	16.9	18.5	14.5	19.0	20.0	21.7	18.8	25.0	16.7	0.0	
障がい者のスポーツ活動に対する支援	5.9	5.9	7.4	3.6	4.8	0.0	8.7	6.3	12.5	5.6	4.5	
その他	2.2	2.2	1.2	3.6	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	4.5	

※複数回答であるため、全回答結果を100%に調整し複数回答を反映している。

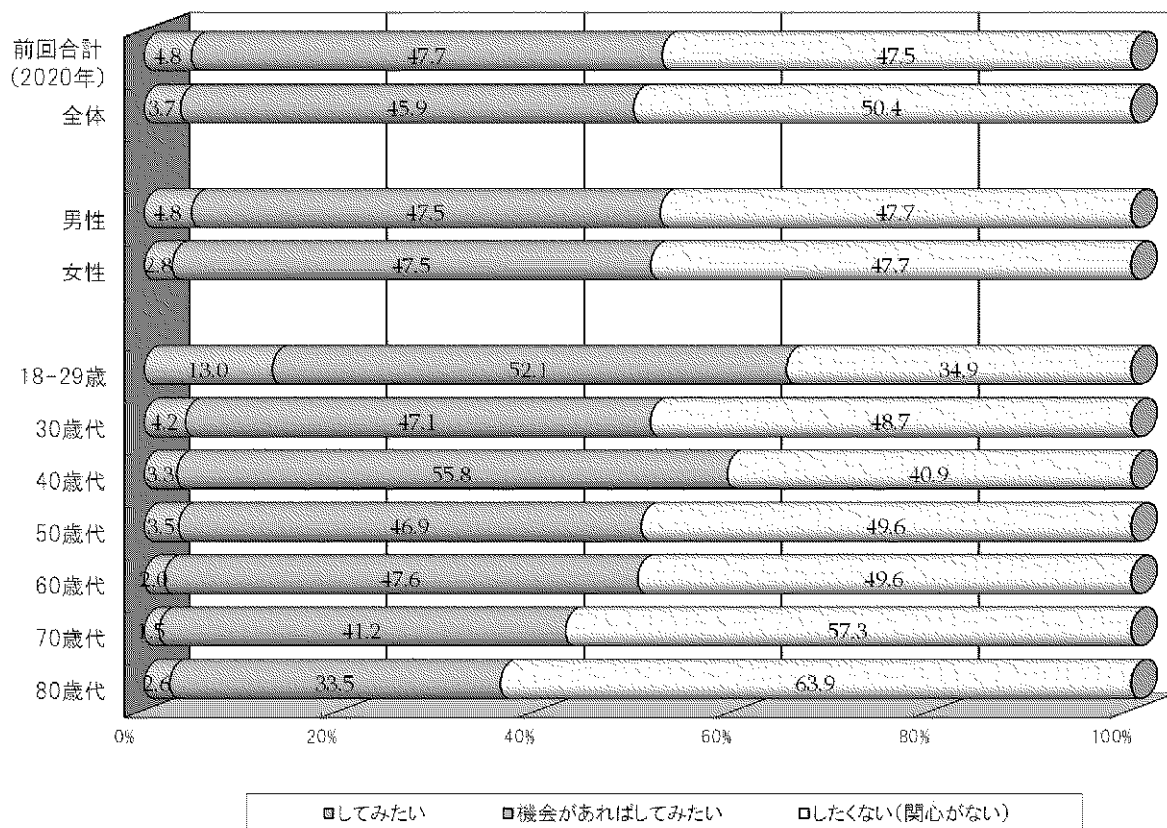


図8 今後のスポーツにかかわるボランティア参加意向 (%)

6) 大分県の競技力向上のために必要な環境整備に対する意識

全体結果としては、前回調査(2020年)同様、「充実したスポーツ施設の整備」56.3%、「優秀な指導者の育成」40.0%、「選手への財政的な支援活動」36.6%等があがっている(表14)。

今回調査より、「わからない・興味がない」という回答カテゴリーを設定したが、その数値は18.1%となり、約5人に1人の県民が競技力の向上には無関心である状況であることがわかった。しかしながら、先行調査事例がないものの、約8割の県民が競技力向上に関心を寄せている状況は、「前向きな」状況であるとも捉えられる。

表14 大分県の競技力向上のために必要な環境整備内容(複数回答・%)

項目	前回全体 (2020年)	全体	性別		年齢							
			男性	女性	18-29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	
充実したスポーツ施設の整備	57.9	56.3	55.9	57.0	79.5	65.1	67.0	59.8	53.2	42.0	41.6	
優秀な指導者の育成	49.5	40.0	41.6	38.8	32.2	40.7	41.9	40.2	43.1	42.0	36.2	
選手への財政的な支援活動	45.0	36.6	36.8	36.5	32.9	36.5	40.5	40.6	41.9	34.1	27.2	
ジュニア期(子ども期)からの一貫指導体制	43.6	34.4	36.8	32.6	26.7	40.7	39.1	34.5	33.8	35.2	29.3	
わからない・興味がない		18.1	16.1	19.4	13.0	14.3	13.5	17.9	17.6	21.6	25.9	
トップアスリートを育成するプログラムの開発	19.2	18.0	22.7	14.0	20.6	23.3	25.6	21.8	20.0	9.1	9.1	
スポーツの医学的研究施設の充実	19.8	16.7	19.8	14.0	16.4	23.8	18.6	15.3	18.0	14.4	11.6	

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。



#### 4 総合型地域スポーツクラブに対する意識

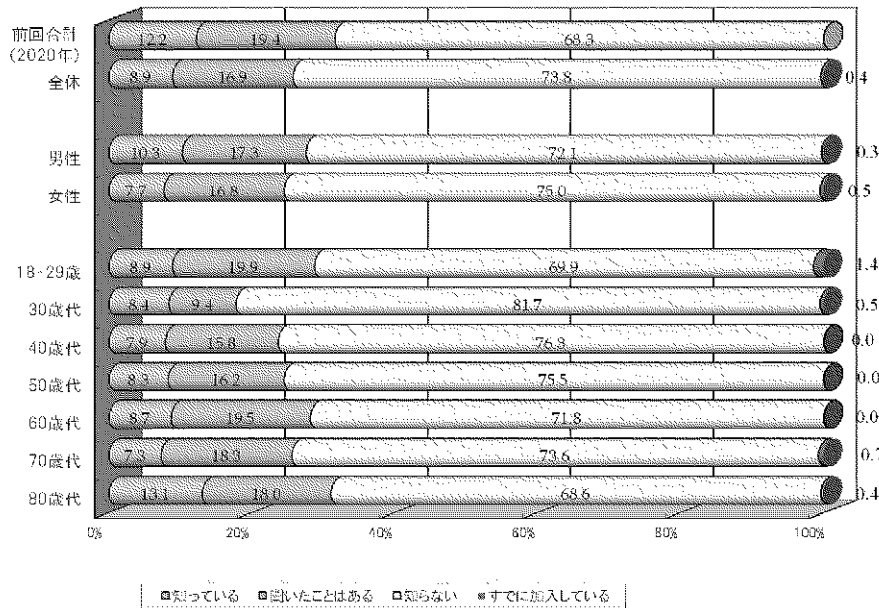


図9 総合型地域スポーツクラブに対する認知度 (%)

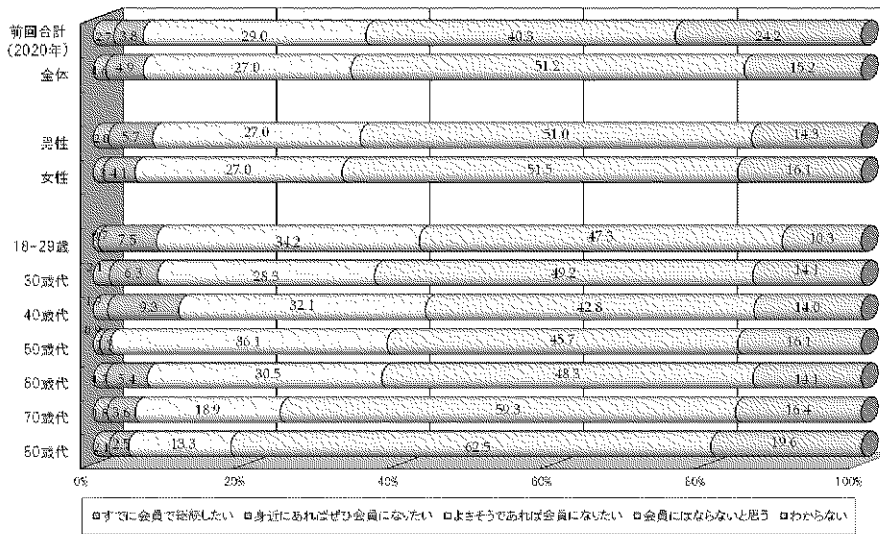


図10 総合型地域スポーツクラブへの加入意向 (%)

まず、総合型地域スポーツクラブに対する認知度を訊ねた。全体結果としては「知っている」8.9%、「聞いたことはある」16.9%、「知らない」73.8%であり、前回調査(2020年)と比較して、総合型地域スポーツクラブに対する認知度は低下していることがわかった(図9)。

但し、今後の加入意向についてみると、「会員にはならないと思う」の数値が前回調査(2020年)よりも、10.9ポイント上昇し、51.2%となっている。そのような意向は、年代層が上がるほど顕著であり、本県における今後の総合型地域スポーツクラブ育成指針を見直すべき時期を迎えているといえるのかもしれない。



## 5 日常生活の満足度と運動習慣の関連性

県民の現在の生活に対する主観的満足度（Quality of Life レベル、以下、QOL）と日常的な運動習慣の有無との関連性について検討してみた。運動習慣の有無区分にあたっては、前出図3において「週3H以上」「週に1～2H」を選択した者を「運動習慣有群」、それ以外を選択した者を「運動習慣無群」とした。以下2つの図は、運動習慣の有無とQOLを測定する2つの質問項目をクロス集計分析し、両者間（運動習慣の有無）の回答傾向を有意差検定より比較検討したものである。

図11と12に示した運動習慣とQOL関連間には、いずれも回答傾向に有意差を確認することとなった。この結果は、前回調査（2020年）においても確認されており、「日常的に運動習慣を有している者ほど、生活に対する満足度が高く」、「居住地域に対する愛着（帰属意識）の気持ちもまた高い」ことを裏付けるものとなった。

これらの結果からも、今後の本県におけるスポーツの推進は、心身ともに健康で豊かな生活を県民に保障し、本県の“スポーツを通じた地域振興”を掲げるうえでも、極めて重要な取り組みであるといえよう。

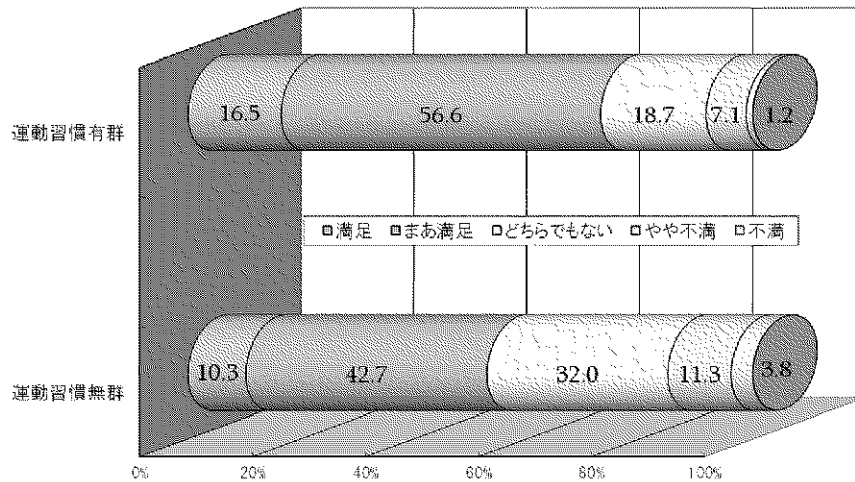


図11 日常的な運動習慣と「生活に対する満足度」(% p<.001)

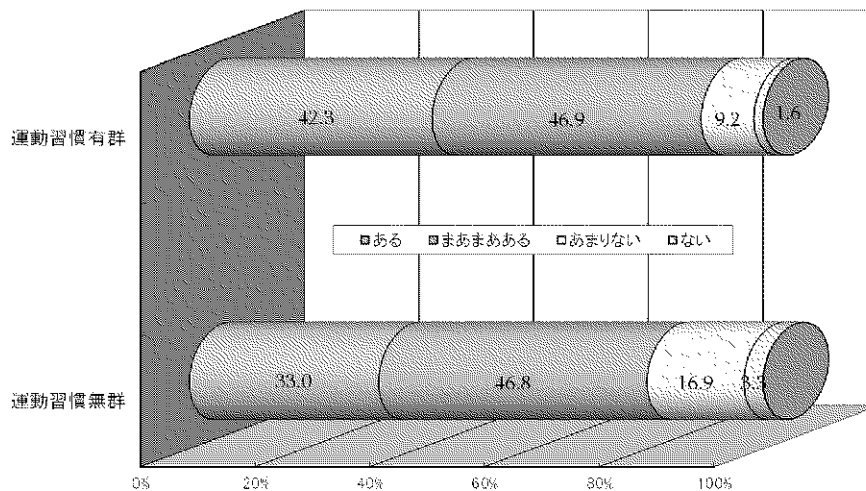
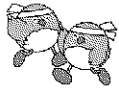


図12 日常的な運動習慣と「地域への愛着」(% p<.001)



## VI 調査結果(児童・生徒調査)

### 1 基本属性

表 15 性別・年齢・所属の構成

		n	%
性別	男性	663	49.6
	女性	642	48.0
	無回答	33	2.5
	計	1,338	100.0
校種	小学生	377	28.2
	中学生	408	30.5
	高校生	553	41.3
	計	1,338	100.0

児童・生徒調査における分析対象サンプルは1,338部であり、性別は男女約半数ずつ、校種に関しては、「高校生」が553名と若干多いサンプル特性となった(表15)。

以下の分析では主に、「性別」「校種別」の傾向と前回調査(2020年)との比較を中心に報告する。

### 2 運動・スポーツに対する意識と活動実態

#### 1) 運動・スポーツに対する好き嫌い

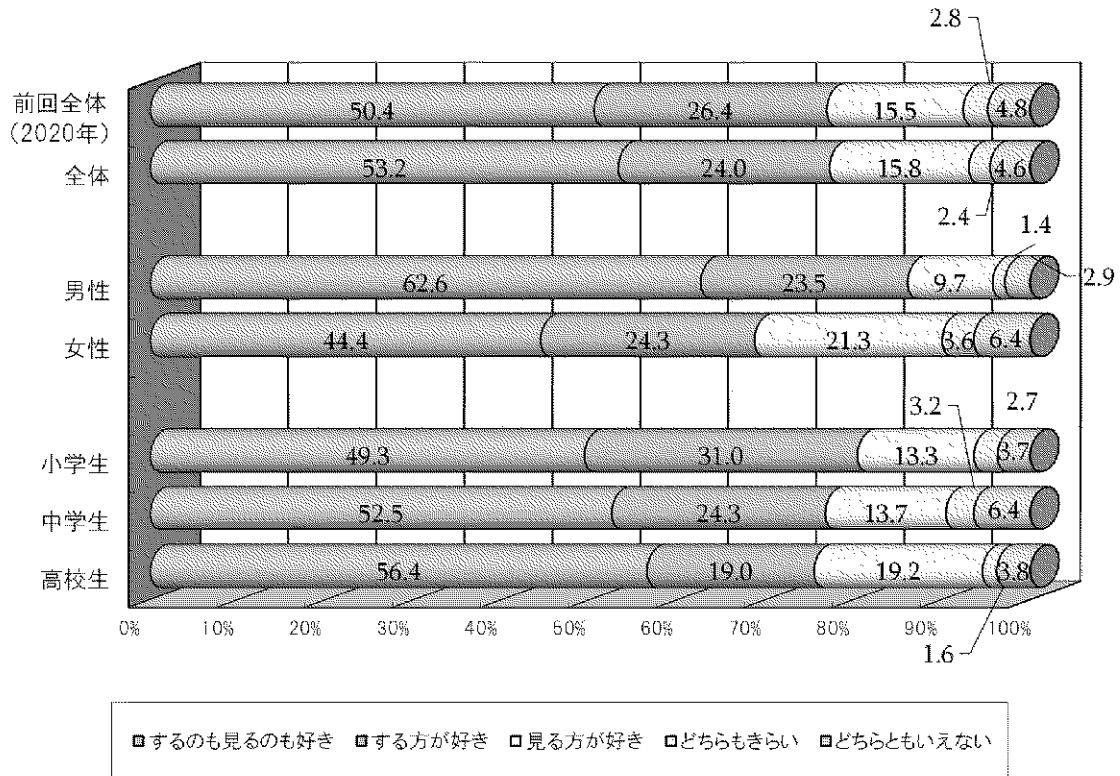


図 13 運動・スポーツに対する好き嫌いの意識 (%)



全体結果としては、「するのを見るのも好き」が 53.2%と最も高い数値であり、次いで「する方が好き」24.0%、「見る方が好き」15.8%となる。「どちらもきらい」はわずかに 2.8%であった(図 13)。

この結果を、性別にみると、「男性」において顕著に「するのを見るのも好き」の数値が高くなった。つぎに、該当者のみの質問にて「運動・スポーツが好きな理由」を複数回答で訊ねた(表 16)。

全体結果で上位にあがる項目としては、「うまくなった時の喜び」69.8%、「楽しい気持ちになれるから」66.8%、「ゲームに勝ったときの喜び」56.8%等であった。なお、これらの上位項目の中でも「楽しい気持ちになれるから」が前回調査(2020)の結果よりも、31.7ポイント上昇していることは非常に重要である。

表 16 【該当者のみの質問】運動・スポーツが好きな理由 (n=1,245, 複数回答・%)

項目	前回合計 (2020年)	今回調査	性別		校種		
			男性	女性	小学生	中学生	高校生
うまくなった時の喜び	73.8	69.8	72.2	67.8	70.8	72.0	67.5
楽しい気持ちになれるから	35.1	66.8	63.3	70.6	57.8	69.4	70.8
ゲームに勝ったときの喜び	54.2	56.8	57.5	56.7	43.1	61.8	62.3
からだが丈夫になるから	34.0	29.6	37.6	20.5	23.0	36.6	28.8
友達が增えるから	22.3	20.2	24.3	15.9	14.2	25.0	20.7
家族からほめてもらえる(もらえた)から	19.9	18.4	15.2	21.7	23.9	21.5	12.6
先生にほめてもらえる(もらえた)から	17.2	13.3	10.2	16.3	8.0	18.3	13.2
目立ってるから	5.5	8.2	10.3	5.4	6.5	8.9	8.9

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。

表 17 【該当者のみの質問】運動・スポーツがきらいな理由 (n=93, 複数回答・%)

項目	前回合計 (2020年)	今回調査	性別		校種		
			男性	女性	小学生	中学生	高校生
うまくできないから	58.3	87.5	88.9	87.0	90.0	84.6	88.9
他に好きなことがあるから	50.0	71.9	88.9	65.2	60.0	76.8	77.8
恥をかきたくないから	41.7	50.0	11.1	65.2	40.0	61.5	44.4
汗をかきたくないから	38.9	43.8	22.2	52.2	30.0	61.5	33.3
競争することが好きではないから	44.4	40.6	22.2	47.8	40.0	46.2	33.3
からだは丈夫ではないから	11.1	25.0	22.2	26.1	20.0	46.2	0.0
仲間を作ることが苦手だから	16.7	21.9	22.2	21.7	30.0	7.7	33.3
指導者(先生)がこわいから	11.1	11.1	12.5	13.0	10.0	7.7	22.2
先生に怒られたことがあるから	13.9	9.4	22.2	4.3	20.0	0.0	11.1
家族からの応援がなかったから	13.9	6.3	0.0	8.7	10.0	7.7	0.0

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。

また、対象サンプル数はわずかであったが(n=93)、図 13 で「どちらもきらい」を選択した者に対し、「運動・スポーツが嫌いな理由」について訊ねた。

全体結果では、「うまくできないから」87.5%、「他に好きなことがあるから」71.9%、「恥をかきたくないから」50.0%等の項目があがっている(表 17)。これらの回答項目も上述同様、前回調査(2020)とはほぼ同様の傾向ではあるが、「うまくできないから」「他に好きなことがあるから」の内容は顕著な数値の高まりをみせている。なかでも、女子児童・生徒における「恥をかきたくない」「汗をかきたくない」「競争することが好きではない」といった項目内容は、今後解決すべき大いなる課題と認識したい。



2) 運動・スポーツの実施状況および実施意向

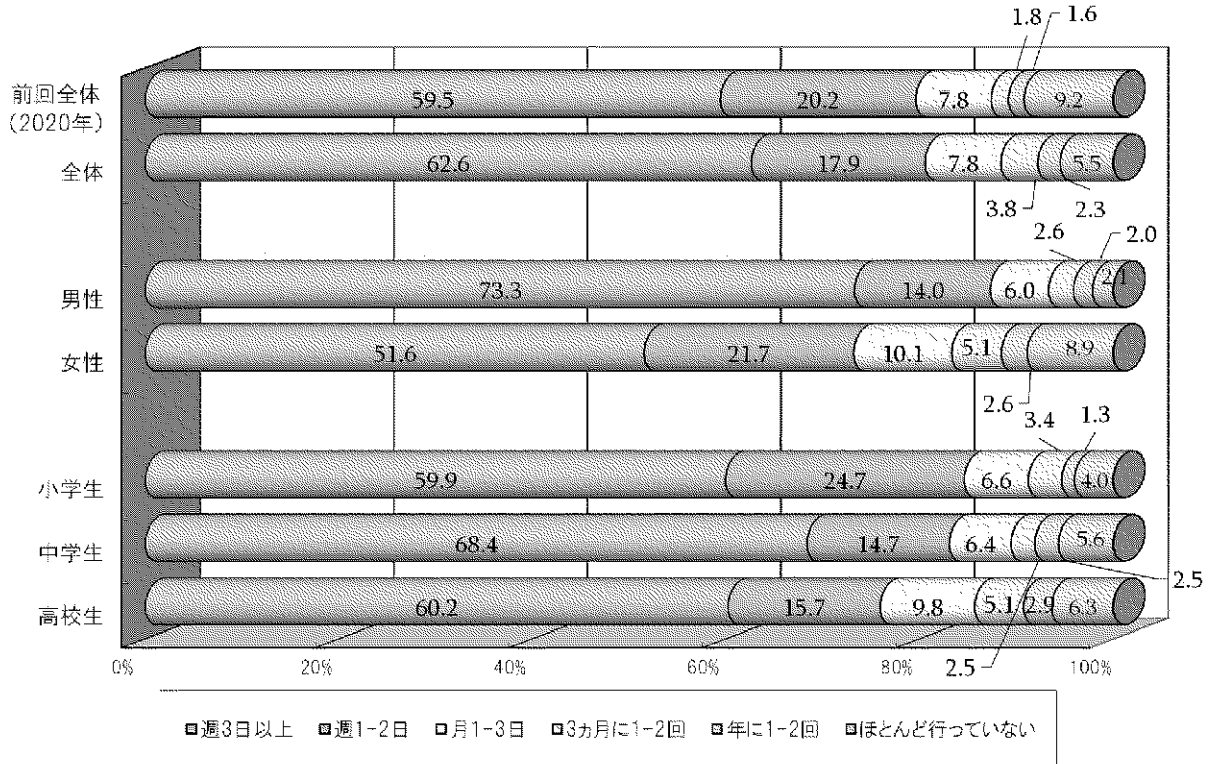


図 14 運動・スポーツの実施状況 (体育の授業以外 %)

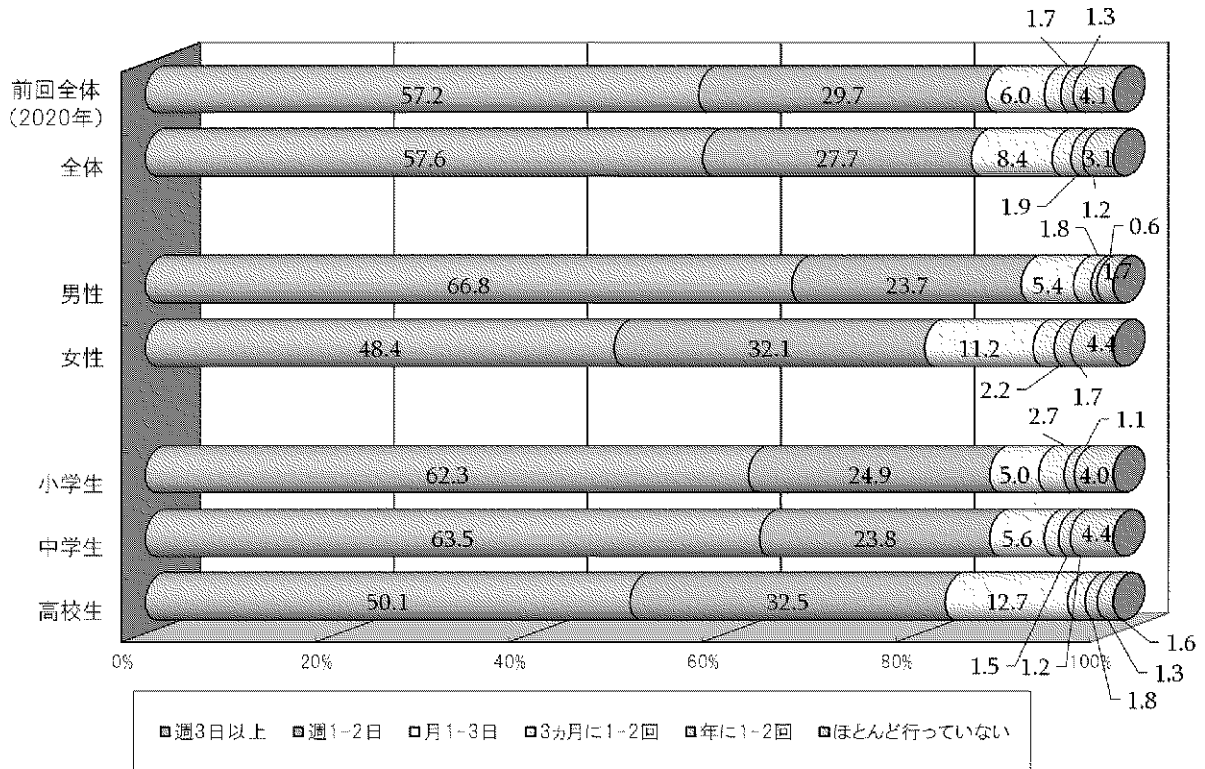


図 15 今後の運動・スポーツの実施意向 (%)



この1年間における運動やスポーツの実施状況について訊ねた。なお、「体育の授業以外で」との文言を質問に含んでいる。

全体結果は、「週3日以上」62.6%、「週に1〜2日」17.9%となり、成人調査において取り扱っている「定期的な運動・スポーツ実施頻度」指標としての「週1日以上」実施率は80.5%であった(図14)。前回調査(2020年)結果と比較すると、子どもたちの定期的な運動・スポーツ実施頻度は増加傾向にあることがわかる。また、性別では「男性」、校種では「中学生」において、「週3日以上」が顕著に高い値を示した。また、今後の運動・スポーツ実施意向も全体的に同様に高い傾向を示した(図15)。

つぎに、児童・生徒たちはどのような運動・スポーツ種目を実施したいと考えているのかをみる。成人調査同様、40種目を設定し、複数回答で実施希望種目を訊ねた。

全体結果で上位にあがる種目としては、「ウォーキング」36.2%、「バドミントン」28.9%、「バレーボール」24.1%、「ダンス」18.5%、「サッカー」18.3%であった(表18)。これらの上位種目は、前回調査(2020年)とは大きく異なる。まず、成人調査においては頻繁に第1位にあがってくる「ウォーキング」が第1位になっていること、また、「ダンス」が第4位にあがってきていること、等が特徴的といえよう。「ウォーキング」に関しては、高校生で50.5%となっていることが大きく関係しそうであるが、子ども期における「新しい運動・スポーツ観」の象徴なのであろうか。この点については、以後も注意深く観察し続ける必要がある。

表18 今後行いたい運動・スポーツ種目(複数回答・%)

		上位種目(下段は%)				
		1位	2位	3位	4位	5位
前回全体 (2020年)		バドミントン 39.0	釣り 29.5	ボウリング 28.3	ドッジボール 27.1	キャンプ(野外活動) 25.3
全体		ウォーキング 36.2	バドミントン 28.9	バレーボール 24.1	ダンス 18.5	サッカー 18.3
性別	男性	ウォーキング 29.3	サッカー 29.0	釣り 27.3	野球 27.3	バドミントン 21.6
	女性	バドミントン 36.0	ダンス 31.3	ウォーキング 30.3	バレーボール 27.7	バスケットボール 16.2
校種	小学生	ドッジボール 27.1	ウォーキング 24.1	バドミントン 23.9	サッカー 23.1	卓球 22.0
	中学生	バドミントン 34.1	ウォーキング 28.2	バレーボール 27.7	卓球 18.6	ダンス 18.1
	高校生	ウォーキング 50.5	バドミントン 28.6	バレーボール 26.9	バスケットボール 21.3	ダンス 20.4

### 3) 「支えるスポーツ」に対する意識

スポーツにかかわるボランティア参加の状況を訊ねたところ、全体では「ある」25.3%、「ない」74.7%であった(図16)。前回調査(2020年)と比較すると、「参加したことがある」者は、9.3ポイント上昇している。なかでも、男子、校種では高校生の参加経験が多い状況にあることがわかる。

また、今後のボランティア活動への参加意向をみると、全体では「してみたい」57.8%、「したくない」42.2%であった(図17)。この結果については、前回調査(2020年)とほぼ同様の結果であることから、本県の児童・生徒におけるスポーツにかかわるボランティア活動への意識は比較的高い水準で維持されていることがわかった。しかしながら、児童・生徒のボランティア意識が高いにもかかわらず、成人の意識は総じて低い点が気に掛かる。本県における「支えるスポーツ」推進の課題といえよう。

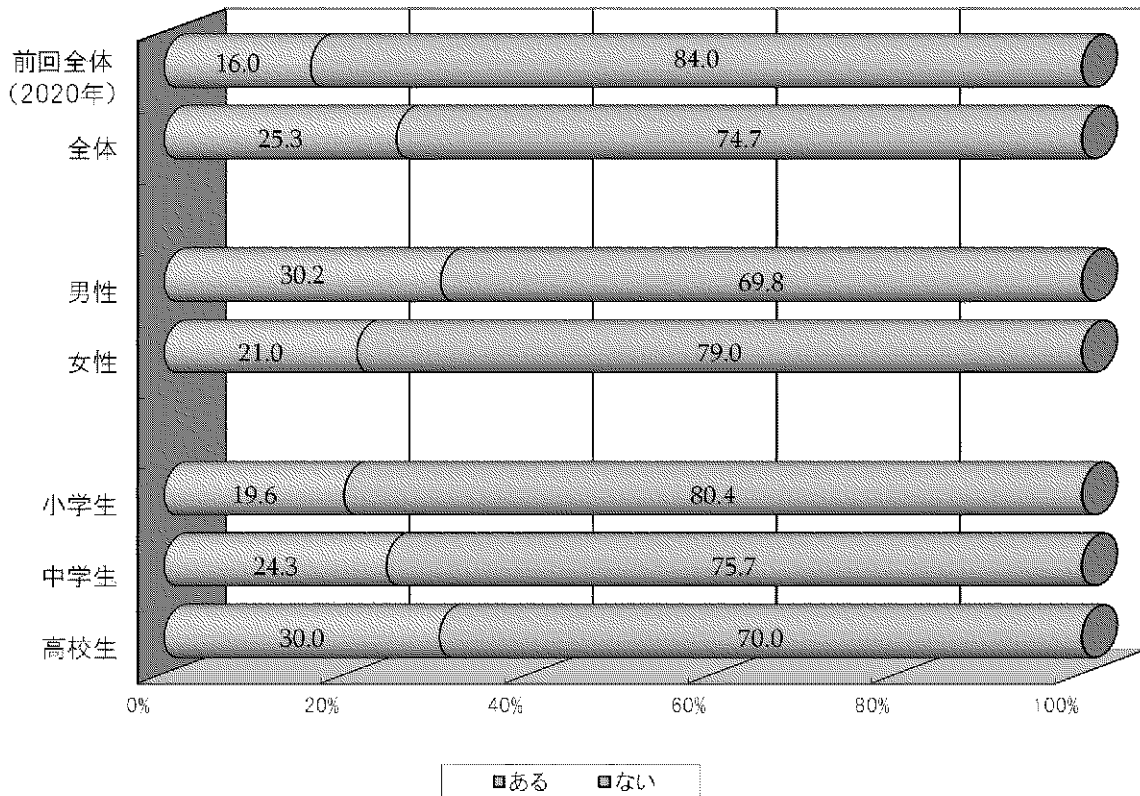


図 16 スポーツにかかわるボランティア参加の状況 (%)

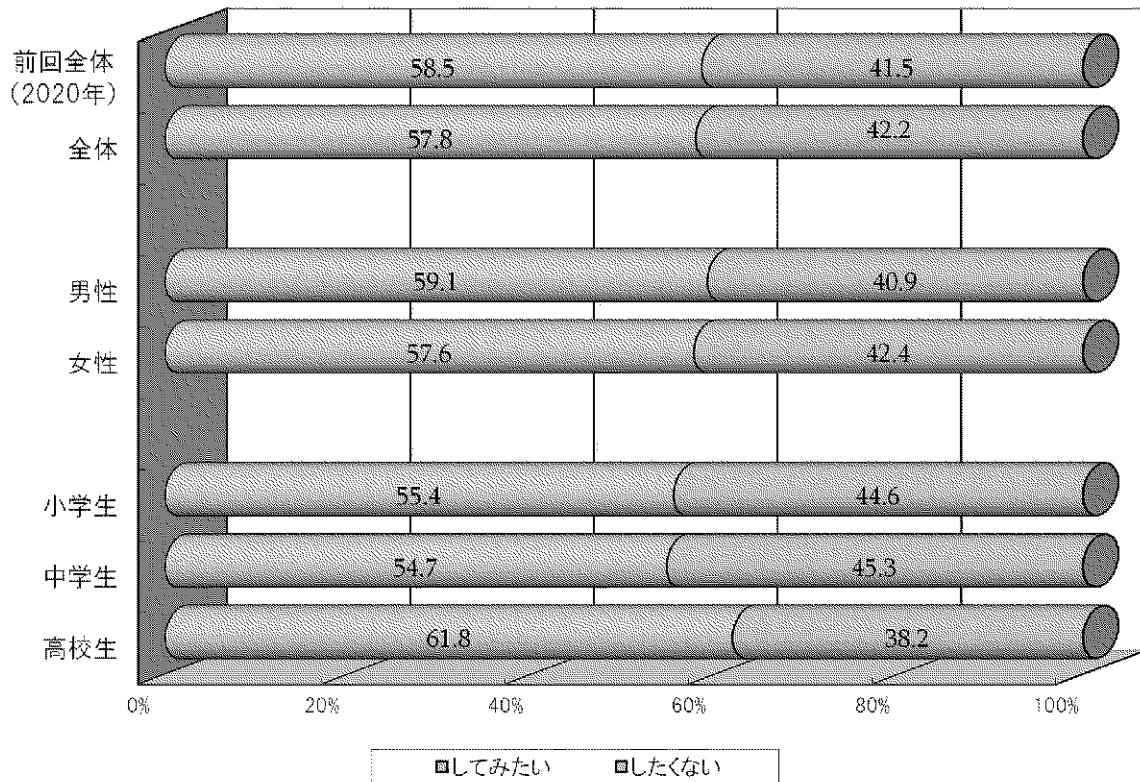


図 17 今後のスポーツにかかわるボランティア参加意向 (%)



### 3 学校の体育と放課後の活動

ここでは、学校における体育授業に対する各種意識と、放課後のスポーツ活動に関する各種意識について報告する。

#### 1) 体育授業に対する好き嫌い

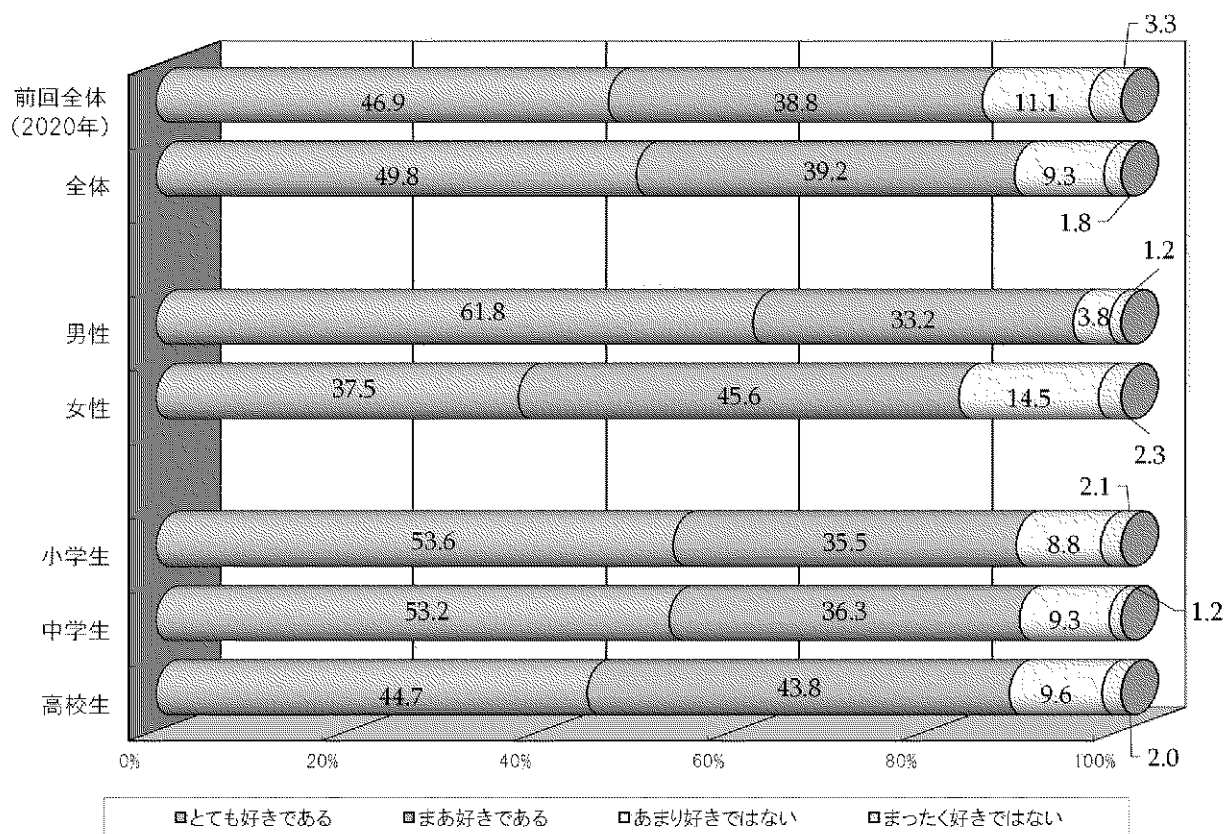


図 18 体育授業に対する好き嫌い（％）

全体結果としては、「とても好きである」49.8%、「まあ好きである」39.2%と、児童・生徒の89.0%が「体育授業は好きである」と回答している（図18）。この数値は、前回調査（2020年）よりも3.3ポイント高くなった。

しかしながら、「とても好きである」の数値に関しては、性別の「男性」において顕著に高く、校種では、「高校生」よりも「小学生」「中学生」において高い傾向にある。なお、図には示していないものの、高校生女子（女性）における「体育嫌い」の傾向が顕著であることを確認している。

では、子どもたちは体育授業におけるどのような教材（種目）を好んでいるのか。複数回答で訊ねた。

全体結果としては、「球技」64.8%、「水泳」29.7%、「陸上運動（競技）」24.4%等が上位としてあがっている（表19）。なかでも、「陸上運動（競技）」「体づくり運動」「ダンス」といった種目への好感度が高まったことは注目に値する。なお、性別における「女性」の「ダンス」が高いこと、校種別では「小学生」の「水泳」、「中学生」「高校生」の「球技」が顕著に高いことあたりが特徴的な傾向といえる。



表 19 体育の授業で好きなもの（複数回答 %）

項目	前回全体 (2020年)	全体	性別		校種		
			男性	女性	小学生	中学生	高校生
球技	54.5	64.8	73.9	56.2	53.8	63.7	73.1
水泳	35.8	29.7	30.5	27.3	43.5	27.9	21.7
陸上運動(競技)	18.4	24.4	27.6	20.7	37.1	25.7	14.8
体づくり運動	14.5	23.2	20.8	25.4	26.0	26.2	19.0
ダンス	16.8	21.6	7.5	35.7	27.3	20.8	18.3
器械運動	21.4	20.0	16.9	23.1	30.5	19.1	13.4
武道	10.9	8.8	10.6	7.0	10.3	7.8	8.8

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。

## 2) 放課後の過ごし方と現在行っているスポーツ（活動）に対する意識

放課後の過ごし方について訊ねたところ、スポーツ少年団、学校の運動部活動、さらには学校以外のクラブや道場等でスポーツを行っている割合は、「小学生」52.0%（スポーツ少年団28.1%、地域クラブや道場23.9%）、「中学生」66.4%（学校の運動部活動17.5%、地域のクラブや道場18.9%）、「高校生」56.7%（学校の運動部活動52.4%、地域のクラブや道場4.3%）となった（表20）。子ども期におけるスポーツ実施状況としては、中学生年代をピークに、高校進学後は若干低下傾向にあることがわかった。

表 20 放課後の過ごし方（%）

放課後の過ごし方	全体	性別		校種		
		男性	女性	小学生	中学生	高校生
スポーツ少年団活動に参加している	44.1	51.4	37.2	28.1	—	—
学校の運動部活動に参加している	—	—	—	—	47.5	52.4
学校以外のクラブや道場などでスポーツ活動に参加している	14.3	16.0	12.1	23.9	18.9	4.3
学校の文化部活動に参加している	14.8	7.6	21.5	—	10.0	18.3
学習塾などの習い事やピアノなどのレッスン教室に通っている	14.7	10.7	17.8	30.0	—	4.3
家の手伝いをしている	11.3	9.7	12.5	27.6	5.4	4.5
スマートフォン・ゲーム機等を使用して遊んでいる	20.6	21.4	19.5	47.2	13.0	8.1
特に何もしていない	8.0	7.7	7.6	11.1	5.1	8.0

学校内・学校外を問わず、スポーツ活動を行っていると回答した者に対する該当者のみの質問を行った。

まず、「現在行っているスポーツ活動は楽しいですか」と訊ねたところ、全体では「大変楽しい」59.1%、「まあまあ楽しい」35.3%、「あまり楽しくない」4.2%、「まったく楽しくない」1.4%であった（図19）。「大変楽しい」の数値は、前回調査（2020年）よりも、若干低下している。

これを性別にみると「女性」よりも「男性」において顕著に高いこと、校種別では「大変楽しい」の割合が「小学生」から「中学生」「高校生」にかけて微減傾向にあること、が明らかとなった。

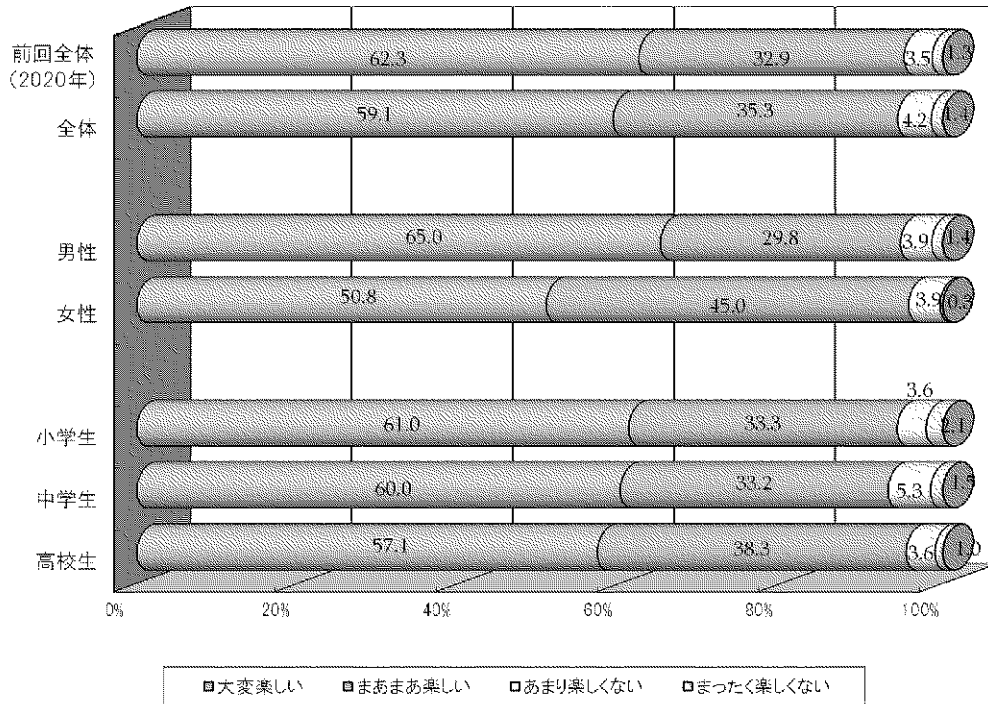


図 19 現在行っているスポーツ活動に対する楽しさ (%)

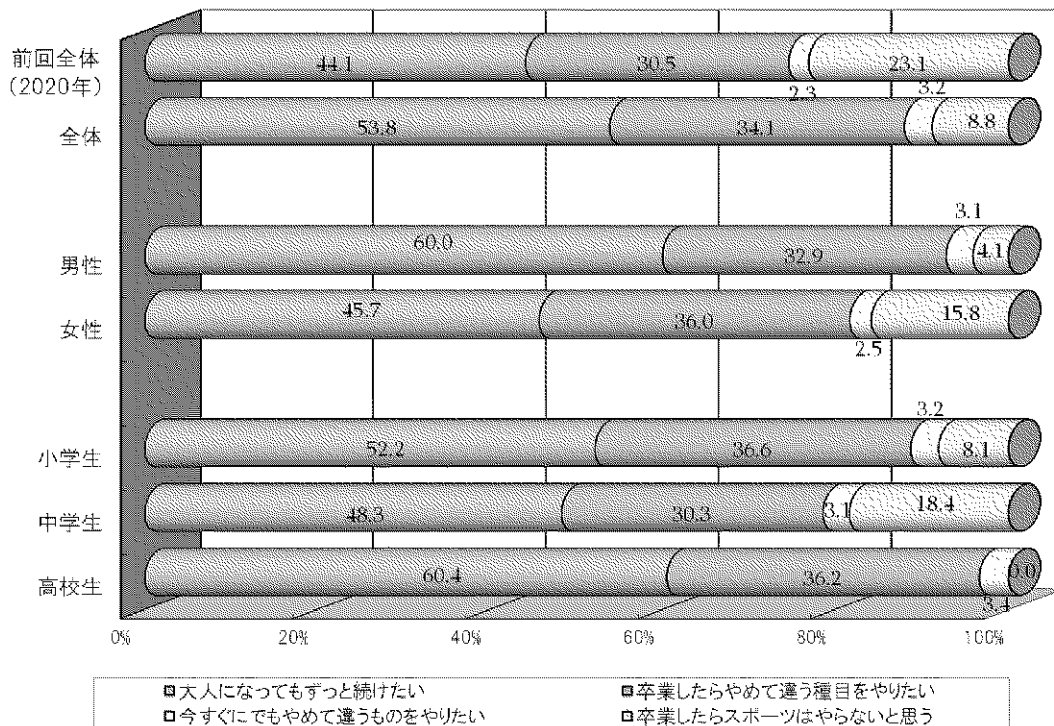


図 20 現在行っているスポーツの継続意向 (%)



つぎに、現在行っているスポーツの継続意向を訊ねた。全体では、「大人になってもずっと続けたい」53.8%、「卒業したら違う種目をやりたい」34.1%、「今すぐにでもやめて違う種目をやりたい」3.2%、「卒業したらスポーツはやらないと思う」8.8%であった(図20)。

全体結果としては前回調査(2020年)と比較して、「大変良好な」変容をみせているといえよう。すなわち、現在スポーツを実践している子どもたちの大多数は、「良好な継続意向」の状態にあるといえそうである。但し、性別では「女性」、校種における「中学生」の積極的継続意向が低い点は気に掛かるところでもある。

### 3) 体力に対する評価

全体結果としては、「おおいにある」11.4%、「まあまあある」39.5%であり、前回調査(2020年)とほぼ同等の回答傾向にある(図21)。

本調査においては、性別の「女性」で、体力に対する低い自己評価の傾向がみられた。

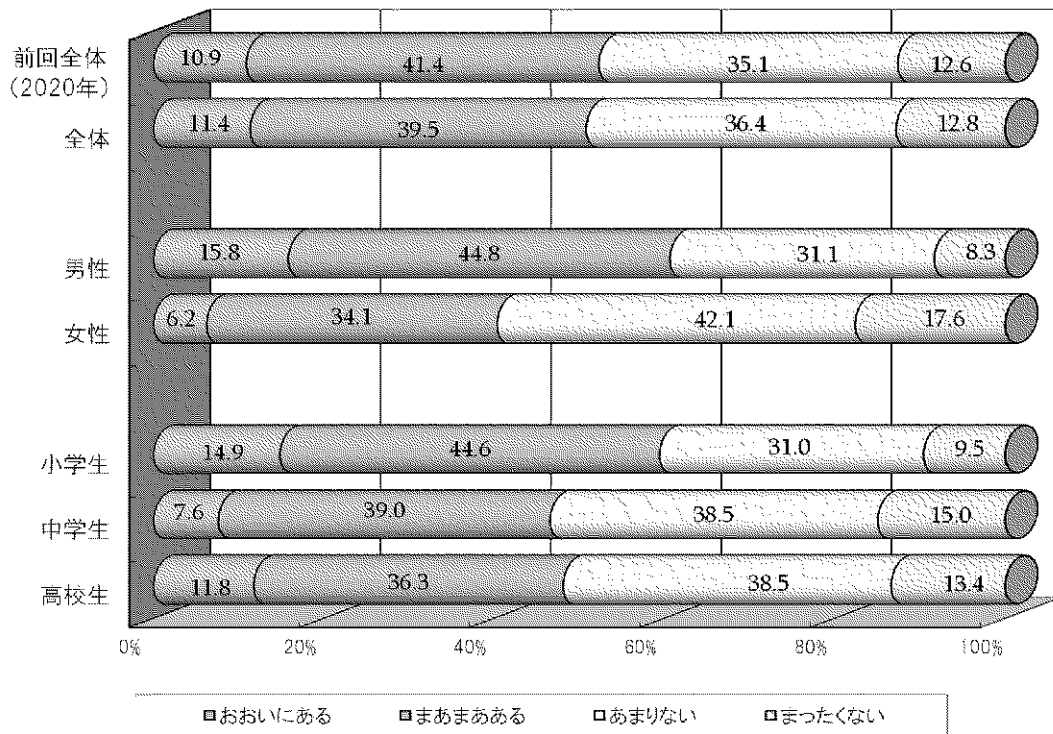


図21 体力に対する自己評価(自信があるか) (%)

### 4) 家族と一緒に運動やスポーツを行う機会

全体結果としては、「よくある」13.8%、「ときどきある」36.0%であり、前回調査(2020年)とほぼ同等の回答傾向にある(図22)。

しかしながら、校種別にみた「小学生」と「中学生」「高校生」間には、回答傾向に大きな差異が存在している。すなわち、「小学生」期においては、家族と一緒に運動やスポーツを行う機会が多いにもかかわらず、「中学生」および「高校生」になると、そのような機会が減少している状況にあるといえる。

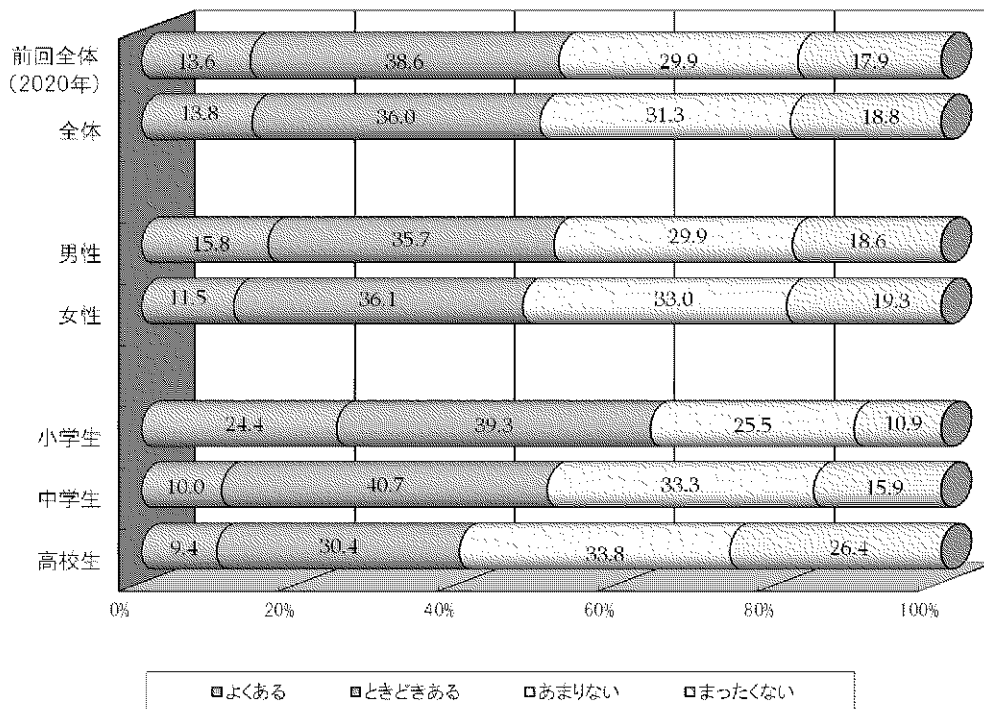


図 22 家族と一緒に運動やスポーツを行う機会 (%)

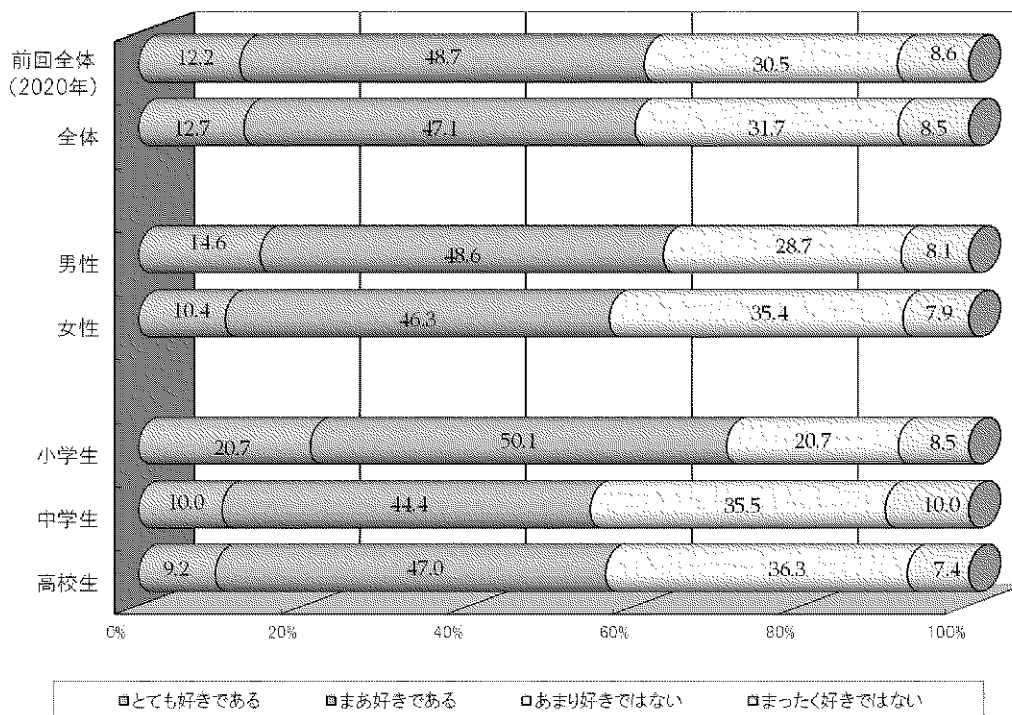


図 23 学校の勉強に対する好き嫌い (%)



### 5) 学校の勉強に対する好き嫌い

全体結果としては、「とても好きである」12.7%、「まあ好きである」47.1%であり、前回調査（2020年）とほぼ同等の回答傾向にある（図23）。

但し、校種別にみたとき、「小学生」と比較して、「中学生」「高校生」の「とても好きである」の数値が低くなっている点は気に掛かる点である。

今回調査では、以下図24のような分析を施してみた。「体育授業の好き嫌い」と「学校の勉強に対する好き嫌い」の関係をクロス集計分析し、有意差検定を行った。結果としては、「体育授業が好きで児童・生徒ほど、学校の勉強が好き」という傾向にあることがわかった。児童・生徒たちにおいては、体育授業への好感度を高めることができれば、勉強への意欲（好感度）を高められる可能性を秘めているのである。児童・生徒たちの健やかな学校生活の創造に向けて、体育が果たす役割は大きいのである。

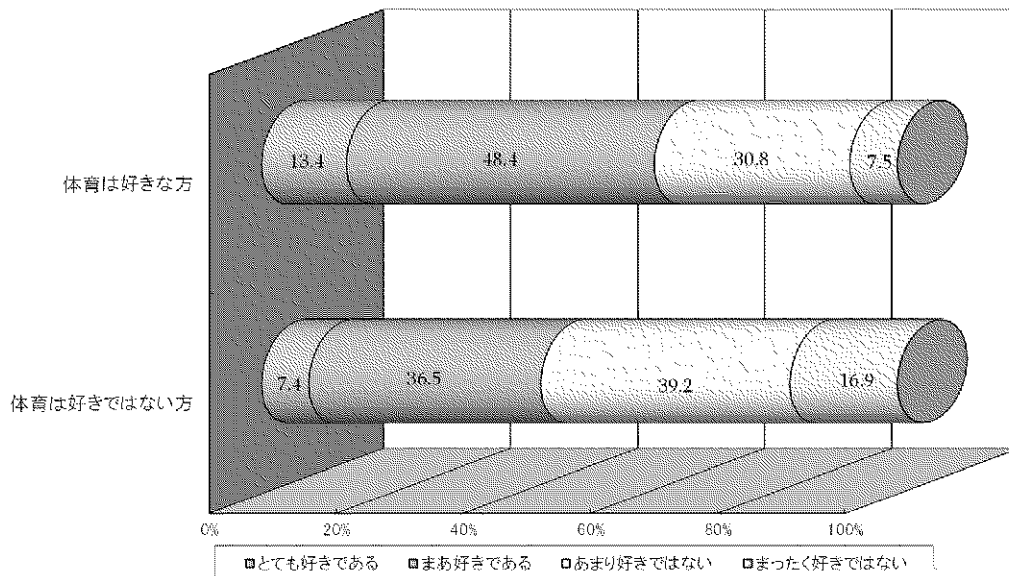


図24 「体育授業の好き嫌い」と「学校の勉強の好き嫌い」の関係（% p<.001）

### 6) トップスポーツを応援する意識

「大分県内で活動しているスポーツチームに対する応援の気持ちほどのくらいですか」との質問項目を設定し、トップスポーツチームに対する応援度を把握した。

全体結果としては、「熱心に応援している」8.1%、「まあまあ応援している」28.8%、「あまり関心がない」38.9%、「まったく関心がない」24.1%であった（図25）。

「性別」でみると、「男性」の方が「女性」に比較して「熱心に応援している」者の割合が高く、校種別でみると、「小学生」が最も高くなった。これらの傾向は前回調査（2020年）とほぼ同様であるものの、全体結果をみる限り、成人同様、児童・生徒のトップスポーツチームに対する応援の気持ちは低下傾向といえそうである。トップスポーツ組織・団体を有している本県においては、県をあげて応援していく雰囲気を高めていきたいものである。

### 7) 障がい者スポーツの観戦状況からみる意識

全体結果としては、「見たことがある」9.4%、「見たことがない」90.6%となり、前回調査（2020年）よりも、児童・生徒たちの障がい者スポーツ（パラスポーツ）観戦頻度は低下していることがわかった（図26）。校種別にみたとき、「中学生」の観戦状況が「小学生」「高校生」と比較して高くない状況であった。

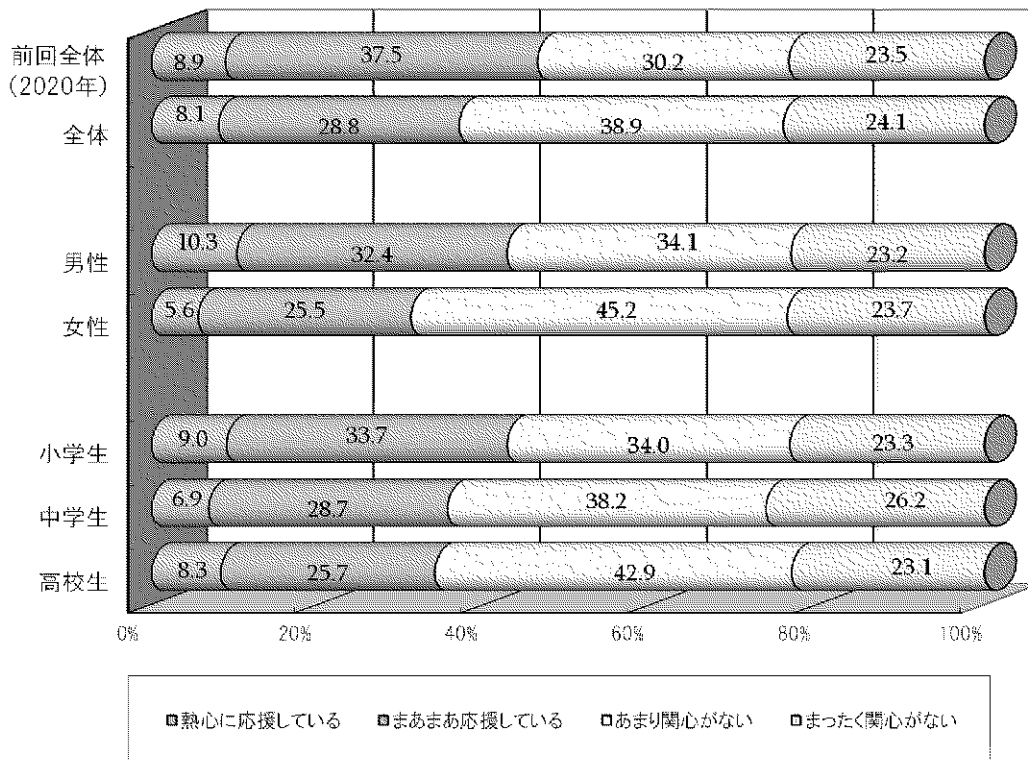


図 25 トップスポーツチームに対する応援度 (%)

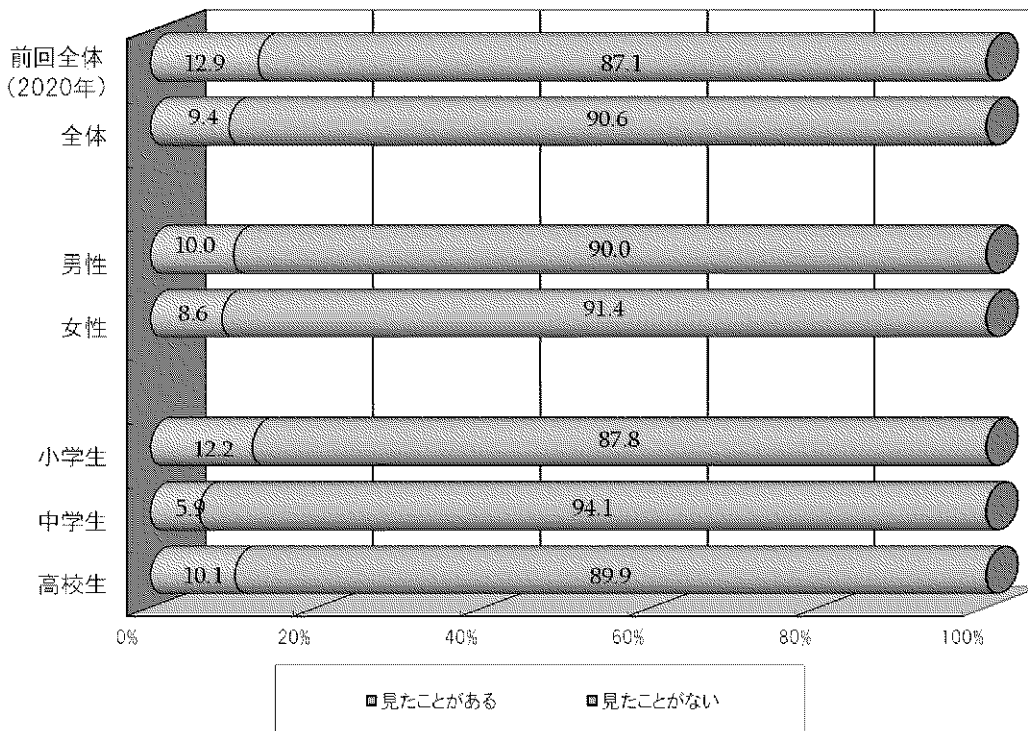


図 26 障がい者スポーツ(パラスポーツ)の観戦状況 (%)



### 8) 総合型地域スポーツクラブに対する意識（認知度と加入意向）

全体結果としては、「知っている」5.2%、「聞いたことがある」14.3%、「知らない」78.9%、「クラブに入っている」1.5%であった（図27）。児童・生徒における総合型地域スポーツクラブの認知度は、前回調査（2020年）と同様、総じて低い状態であることがわかった。

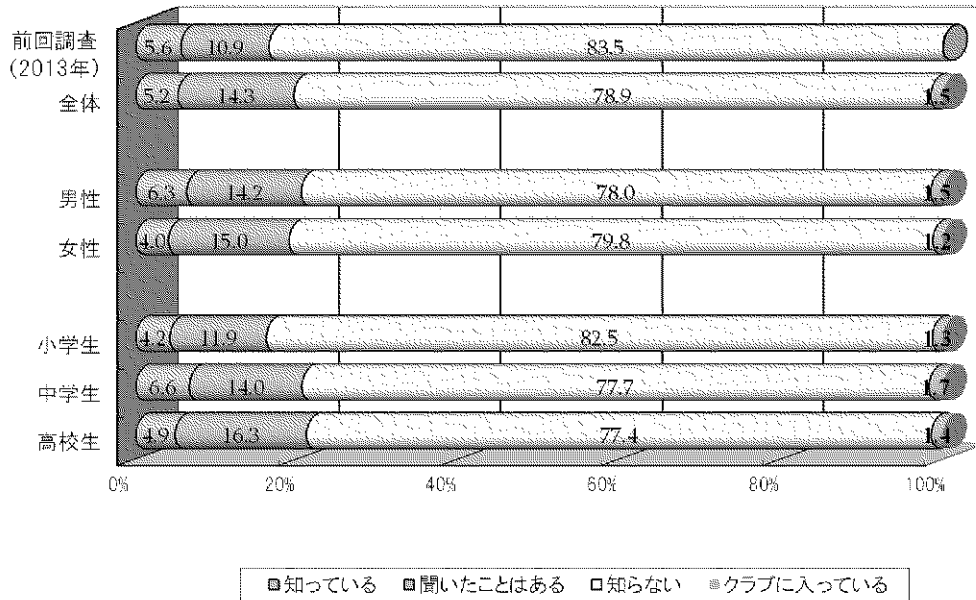


図 27 総合型地域スポーツクラブに対する認知度 (%)

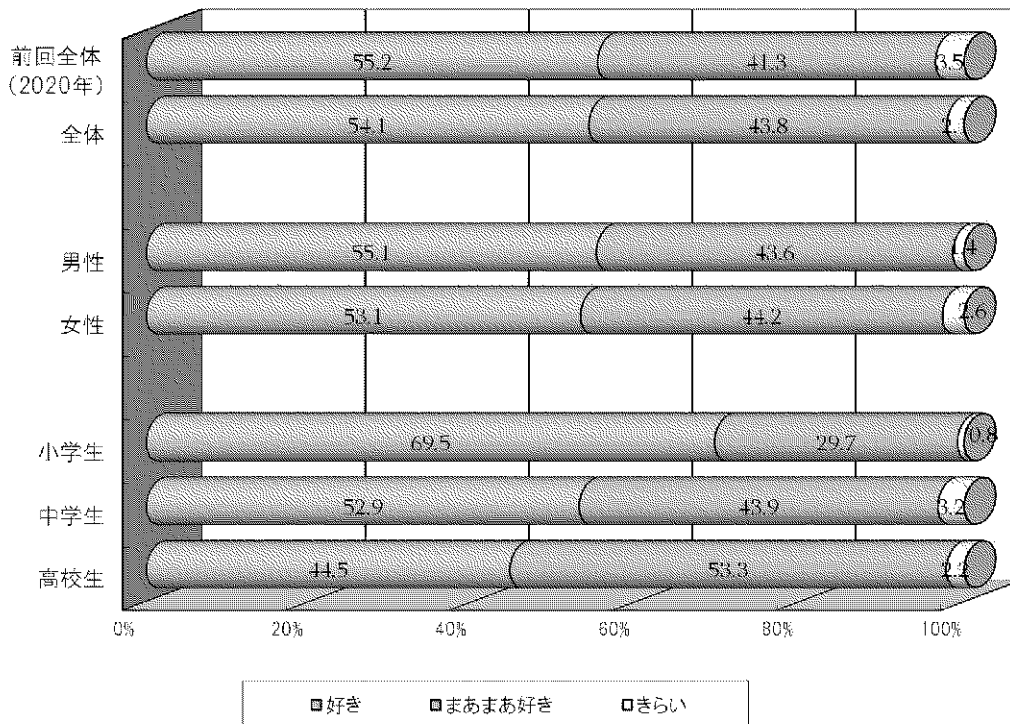


図 28 居住地(市町村)に対する愛着度 (%)

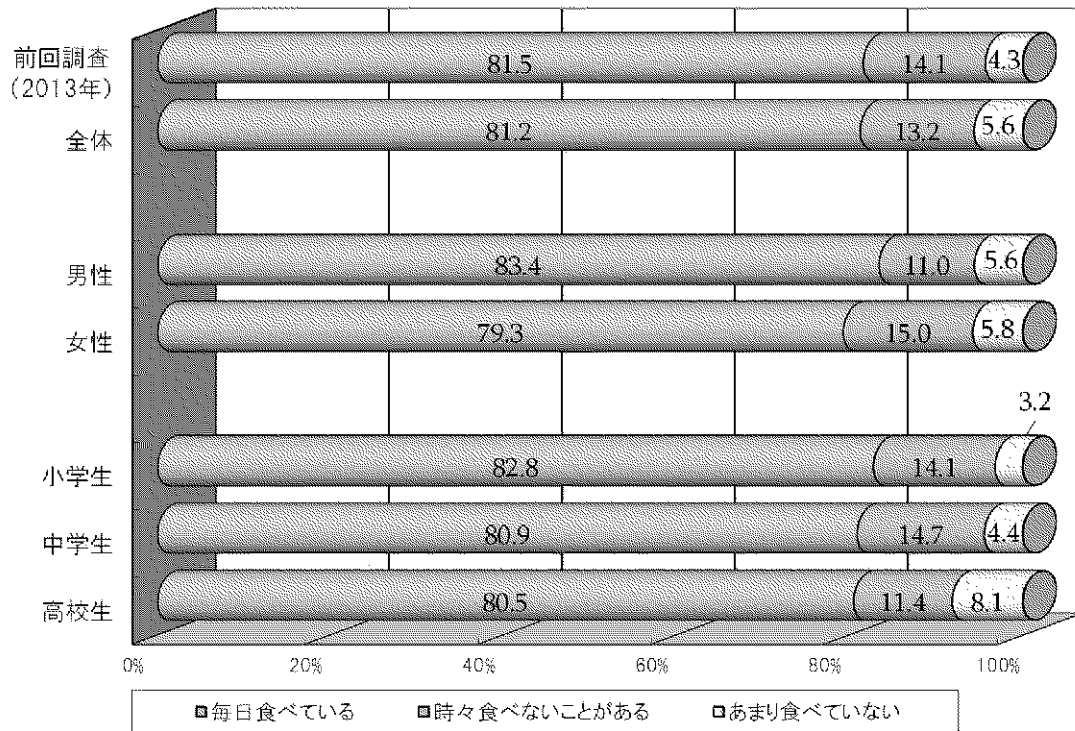


図 29 毎日の朝食摂取の状況 (%)

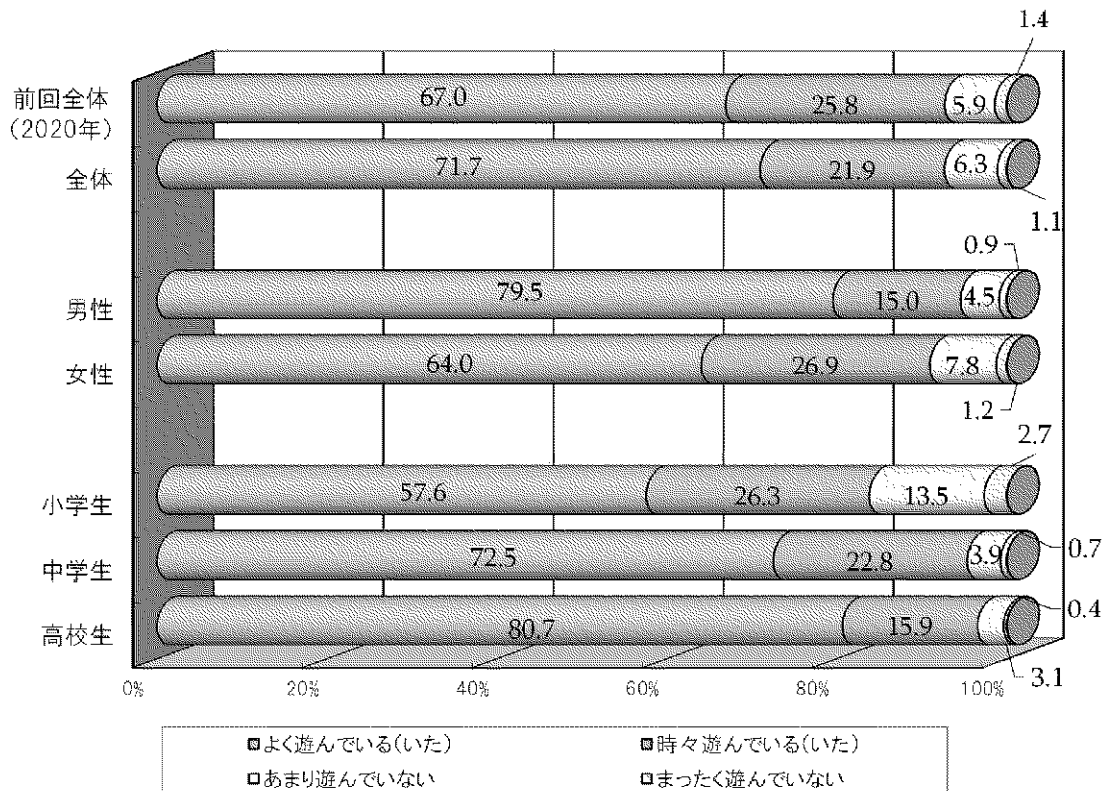


図 30 外遊びの状況 (%)



### 9) 居住地（市町村）に対する愛着度

全体結果としては、「好き」54.1%、「まあまあ好き」43.8%、「きらい」2.1%であり、特に校種別にみた「小学生」の「好き」の数値（69.5%）が顕著に高い結果となった（図28）。

### 10) 毎日の朝食摂取の状況

「毎日の朝食摂取の状況」を訊ねたところ、全体結果としては、「毎日食べている」81.2%、「時々食べないことがある」13.2%、「あまり食べていない」5.6%であった（図29）。前回調査（2020年）と比較しても、総じて大きな変化は見られない。

### 11) 外遊びの状況

「外遊びの状況」については、小学生に対しては「あなたは外で遊んでいますか」との質問を設け、中学生および高校生に対しては「あなたは、小学生の頃、外で遊んでいましたか」との質問を設けた。

全体結果としては、「よく遊んでいる（いた）」71.7%、「時々遊んでいる（いた）」21.9%、「あまり遊んでいない」6.3%、「まったく遊んでいない」1.1%であった（図30）。

校種別にみると、「高校生」80.7%、「中学生」72.5%、「小学生」57.6%と年代が低くなるにつれて外遊びの機会は減少傾向にあることがわかる。前回調査（2020年）においても、外遊びの減少傾向は確認されており、その傾向は現在も続いていることが明らかになった。

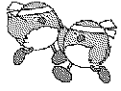
### 【謝辞】

今回の報告書作成にあたり、調査協力をいただいた県民の皆様方に対し深甚の謝意を表する次第である。

---

#### （参考資料）

- ・スポーツ庁：「令和6年度『スポーツの実施状況等に関する世論調査』」，令和7年3月
- ・大分県教育委員会：「県民スポーツに関する実態調査報告書」，令和2年8月



## **VII 巻末資料(成人調査票と児童・生徒調査票)**



## 令和7(2025)年度県民のスポーツ実態に関するアンケート調査

### (成人用)

#### <調査へのご協力のお願い>

大分県では、県民の皆様が自分のレベルにあわせてスポーツに親しみ、かかわりあい、楽しめるスポーツ環境づくり等を計画的に推進するため、令和2年度に「第2期大分県スポーツ推進計画」を策定し、各種の取り組みを実践しています。

本年度が策定後、約5年目となることから、計画に掲げる各種施策を検証するとともに、今後の取組に反映するため、現在県民の皆様がスポーツに対してどのような意識を持っているのか、また、日頃どのようなスポーツを行っているのか等、無作為に抽出した約5,700人の県民の皆様を対象に調査を行うことになりました。

ご回答いただきました結果は、すべて第三者により統計的に処理いたしますので、個人情報公表されることは決ましません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

(企画) 大分県教育庁体育保健課

#### <ご記入にあたってのお願い>

- 回答は、郵送させていただいた宛名のご本人がご記入ください。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。なお、該当するものすべてを選ぶようになっている場合には、該当番号にすべて○を付けてください。
- 回答が「その他」になった場合には、お手数ですが( )内に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入がお済みになったらお手数ですがアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れて、11月14日(金)までにご返送願います。
- 記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

調査へのご回答にあたっては、以下の2つの方法があります。

- 1) つぎのページからの質問に直接回答し、回答が終わったら同封している封筒に入れて返信してもらう方法
- 2) 下に示してあるQRコードもしくは、URLを用い、スマホやパソコンで答える方法

です。回答には10分程度かかります。なにとぞよろしくお願い申し上げます。



<https://forms.gle/bABVsbi2pXVJTNot5>

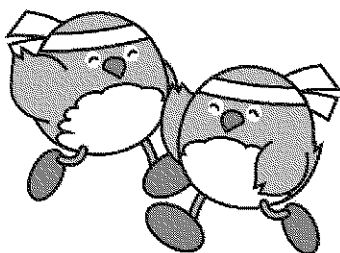
<調査についてのお問い合わせ>

大分県教育庁体育保健課生涯スポーツ班

(担当 あじみ 安心院 久嗣)

住 所: 〒870-8503 大分市府内町3-10-1

電 話: 097-506-5645







(8) あなたはスポーツを観る(観戦やテレビ視聴等)ことが好きですか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 大変好きである        | 2. どちらかといえば好きである |
| 3. どちらかといえばきらいである | 4. きらいである        |
| 5. どちらともいえない      |                  |

(9) あなたは運動やスポーツをこの1年間にどのくらいのペースでしていましたか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

- |             |           |               |
|-------------|-----------|---------------|
| 1. 週に3日以上   | 2. 週に1~2回 | 3. 月に1~3回     |
| 4. 3ヶ月に1~2回 | 5. 年に1~2回 | 6. ほとんどしていません |

(10) あなたにとって、運動やスポーツの実施はどのような意味がありますか。あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

- |                 |                     |                |
|-----------------|---------------------|----------------|
| 1. 健康・体力づくりのため  | 2. 楽しみや気晴らしのため      | 3. 家族とのふれあいのため |
| 4. 友人・仲間との交流のため | 5. 自己の記録や能力を向上させるため |                |
| 6. 精神修養や訓練のため   | 7. 美容や肥満解消のため       | 8. 運動不足を感じるため  |
| 9. 自然とふれあうため    | 10. その他 ( )         |                |

(11) あなたはこれから先、運動やスポーツをどのくらいのペースでしたいと思っていますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

- |             |           |              |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. 週に3日以上   | 2. 週に1~2回 | 3. 月に1~3回    |
| 4. 3ヶ月に1~2回 | 5. 年に1~2回 | 6. したいとは思わない |

(12) あなたが、これから実施してみたいと思う運動やスポーツを下記の40種目の中から、あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。なお、あてはまる種目が一覧表にない場合には、「41 その他」を選択し、具体的な種目名をお書きください。

<運動・スポーツ種目一覧 50音順>

1 ウォーキング	11 ゴルフ	21 相撲	31 なわとび
2 エアロビクス	12 サッカー	22 ソフトテニス	32 バスケットボール
3 カヌー	13 自転車(サイクリング含む)	23 ソフトボール	33 バドミントン
4 空手道	14 柔道	24 体操(ラジオ体操)	34 バレーボール
5 器械体操(新体操含む)	15 乗馬	25 卓球	35 ハンドボール
6 キャンプ(野外活動)	16 ジョギング・ランニング	26 ダンス	36 フットサル
7 弓道	17 水泳	27 釣り	37 ボウリング
8 グラウンドゴルフ	18 スキー	28 テニス	38 野球
9 ゲートボール	19 スケート	29 登山	39 ラグビーフットボール
10 剣道	20 スノーボード	30 ドッジボール	40 陸上競技
			41 その他 ( )

(13) あなたが運動やスポーツを実施する際に、困っていることや妨げになっていること、あるいは実施できない理由をお聞かせください。以下の1~18までの項目について、あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

- |                |                   |             |
|----------------|-------------------|-------------|
| 1. 仕事の事情       | 2. 仲間の事情(仲間がいない等) | 3. 費用に関する事情 |
| 4. 家庭の事情(子育て等) | 5. その他            |             |





5. 大会やイベントなどでの一般的な支援（受付・案内、記録・掲示、接待、運搬・運転など）
6. 障がい者のスポーツ活動に対する支援
7. その他（ ）

**ここからはすべての方にお聞きます。**

- (20) あなたは、これからスポーツにかかわるボランティア活動をしてみたいですか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. してみたい
  2. 機会があればしてみたい
  3. したくない（関心がない）
- (21) あなたは、大分県の競技力向上のためには、どのような環境（施設やシステム等）を整えることが必要だと思いませんか。以下の中から必要だと感じるものをすべて選び番号を○で囲んでください。
1. 充実したスポーツ施設の整備
  2. 優秀な指導者の育成
  3. トップアスリートを育成するプログラムの開発
  4. スポーツの医科学的な研究施設の充実
  5. ジュニア期（子ども期）からの一貫指導体制
  6. 選手への財政的な支援活動
  7. わからない・興味がない

**IV あなたの住んでいる地域のスポーツ事情についてお聞きます**

- (22) あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. 知っている
  2. 聞いたことはある
  3. 知らない

● **総合型地域スポーツクラブとは**

「総合型地域スポーツクラブ」とは、地域住民が主体となって運営し、子どもから高齢者まで、初心者から上級生者まで、さまざまなスポーツを気軽に楽しめるようにした、「多種目」「多世代」「多志向」を大切にされた地域のスポーツクラブのことです。

大分県には現在、31のクラブがそれぞれの地域にあります。

- (23) あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」の会員になりたいと思いませんか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. すでにクラブ会員であり継続したいと思う
  2. 身近にそういったクラブがあればぜひ会員になりたい
  3. 身近にそういったクラブができ、良さそうであれば会員になりたい
  4. たぶん会員にはならないと思う
  5. わからない

**V 日常生活に対する満足度やスポーツの意義・効果についてお聞きます**

- (24) あなたは、現在の生活全般にどの程度満足していますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. 満足
  2. まあ満足
  3. どちらでもない
  4. やや不満
  5. 不満
- (25) あなたは、いま住んでいる地域に対して愛着がありますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. ある
  2. まあまあある
  3. あまりない
  4. ない



## 令和7(2025)年度県民のスポーツ実態に関するアンケート調査 (Web 調査)

### ( 小学校 5 年生用 )

- (1) あなたの性別を教えてください。
1. 男
  2. 女
  3. 答えたくない
- (2) あなたが住んでいる市町村を教えてください。
1. 大分市
  2. 別府市
  3. 中津市
  4. 日山市
  5. 佐伯市
  6. 臼杵市
  7. 津久見市
  8. 竹田市
  9. 豊後高田市
  10. 杵築市
  11. 宇佐市
  12. 豊後大野市
  13. 山布市
  14. 国東市
  15. 姫島村
  16. H出町
  17. 九重町
  18. 玖珠町
- (3) あなたは運動やスポーツが好きですか。
1. 自分でするのも見るのも好き
  2. どちらかといえば自分でするの方が好き
  3. どちらかといえば見るの方が好き
  4. するのも見るのもきらい
  5. どちらともいえない
- (4) 運動・スポーツが好きな人だけ、運動・スポーツが好きな理由を全て教えてください。(複数回答)
1. うまくなったときの喜び
  2. ゲームに勝ったときの喜び
  3. 先生にほめてもらえる(もらえた)から
  4. 家族からほめてもらえる(もらえた)から
  5. からだが丈夫になるから
  6. 友達が増えるから
  7. ストレスの解消になるから
  8. 目立てるから
- (5) 運動・スポーツをするのも見るのもきらいな人だけ、きらいな理由を全て選んでください。(複数回答)
1. うまくできないから
  2. 競争することが好きではないから
  3. 先生におこられたことがあるから
  4. 家族からあまり進められてこなかったから
  5. からだが丈夫ではないから
  6. 仲間を作ることが苦手だから
  7. はじをかきたくないから
  8. 汗をかきたくないから
  9. 指導者(先生)がこわいから
  10. 他に好きなことがあるから
- (6) 運動・スポーツをするのも見るのもきらいな人だけ、きれいになったのはいつごろからか教えてください。
1. 小学校入学前
  2. 小学校低学年の頃
  3. 小学校高学年になってから
- (7) あなたは、体育の授業以外に、運動やスポーツをこの1年間にどのくらいのペースでしていましたか。
1. 週に3日以上ペース
  2. 週に1~2日のペース
  3. 月に1~3日のペース
  4. 3ヶ月に1~2回くらい
  5. 年に1~2回くらい
  6. ほとんどしていない
- (8) あなたは、これから先、運動やスポーツをどのくらいしたいと思っていますか。
1. 週に3日以上ペース
  2. 週に1~2日のペース
  3. 月に1~3日のペース
  4. 3ヶ月に1~2回くらい
  5. 年に1~2回くらい
  6. したいとは思わない
- (9) あなたがこれからしたいと思う運動・スポーツを、全て選んでください。(複数回答)



<運動・スポーツ種目一覧 50音順>

1 ウォーキング	11 ゴルフ	21 相撲	31 なわとび
2 エアロビクス	12 サッカー	22 ソフトテニス	32 バスケットボール
3 カヌー	13 自転車(サイクリング含む)	23 ソフトボール	33 バドミントン
4 空手道	14 柔道	24 体操(ラジオ体操)	34 バレーボール
5 器械体操(新体操含む)	15 乗馬	25 卓球	35 ハンドボール
6 キャンプ(野外活動)	16 ジョギング・ランニング	26 ダンス	36 フットサル
7 弓道	17 水泳	27 釣り	37 ボウリング
8 グラウンドゴルフ	18 スキー	28 テニス	38 野球
9 ゲートボール	19 スケート	29 登山	39 ラグビーフットボール
10 剣道	20 スノーボード	30 ドッジボール	40 陸上競技
			41 その他
			( )

(10) あなたは、過去に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動をしたことがありますか。

1. ある 2. ない

(11) あなたは、これからスポーツにかかわるボランティア活動をしてみたいですか。

1. してみたい 2. したくない

(12) あなたは、体育の授業が好きですか。

1. とても好きである 2. まあ好きである 3. あまり好きではない 4. まったく好きではない

(13) あなたの放課後の活動に当てはまるものを全て教えてください。(複数回答)

1. スポーツ少年団活動に参加している  
2. 総合型クラブやスイミングクラブ、道場などでの活動に参加している  
3. ピアノやバイオリンなどのレッスン教室に参加している  
4. 学習塾や習字、そろばんなどの習い事に通っている  
5. 家の手伝いをしている  
6. スマートフォン・ゲーム機等で遊んでいる

(14) 放課後の活動でスポーツをしている人だけ、今しているスポーツの中で一番力を入れて取り組んでいる種目を教えてください。

( )

(15) 放課後の活動でスポーツをしている人だけ教えてください。今しているスポーツは楽しいですか。

1. 大変楽しい 2. まあまあ楽しい 3. あまり楽しくない 4. まったく楽しくない

(16) 放課後の活動でスポーツをしている人だけ教えてください。現在しているスポーツをいつまで続けたいですか。

1. 大人になってもずっと続けたい 2. 卒業したらやめて違う種目をしたい  
3. 今すぐにもやめて違うものをしたい 4. 卒業したらスポーツはしないと思う

(17) あなたは、体力に自信がありますか。

1. おおいいある 2. まあまあある 3. あまりない 4. まったくない

(18) あなたが、体育の授業の好きなものを全て教えてください。(複数回答)

1. 体づくり運動 2. 器械運動 3. 陸上運動 4. 水泳  
5. ボール運動 6. 表現運動



- (19) あなたは、家族と一緒に運動やスポーツをすることがありますか。
1. よくある
  2. ときどきある
  3. あまりない
  4. まったくない
- (20) あなたは、学校の勉強が好きですか。
1. とても好きである
  2. まあ好きである
  3. あまり好きではない
  4. まったく好きではない
- (21) あなたは、大分県内で活動しているスポーツチーム（大分トリニータ、バサジィ大分、大分 B-リングス、スパークルおおいた）に対する応援の気持ちはどのくらいですか。
1. 熱心に応援している
  2. まあまあ応援している
  3. あまり関心がない
  4. まったく関心がない
- (22) あなたは、パラスポーツ大会（大分国際車いすマラソン大会等）を会場で見たことがありますか。
1. 見たことがある
  2. 見たことがない
- (23) あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。
1. 知っている
  2. 聞いたことはある
  3. 知らない
  4. 総合型地域スポーツクラブに入っている
- (24) あなたは、住んでいるところ（市町村）のことが好きですか。
1. 好き
  2. まあまあ好き
  3. きらい
- (25) あなたは、毎日朝ごはんを食べていますか。
1. 毎日食べている
  2. ときどき食べないことがある
  3. あまり食べない
- (26) あなたは、外で遊んでいますか。
1. よく遊んでいる
  2. ときどき遊んでいる
  3. あまり遊んでいない
  4. まったく遊んでいない



## 令和7(2025)年度県民のスポーツ実態に関するアンケート調査 (Web 調査)

### ( 中学校 2 年生用 )

- (1) あなたの性別を教えてください。
1. 男
  2. 女
  3. 答えたくない
- (2) あなたが住んでいる市町村を教えてください。
1. 大分市
  2. 別府市
  3. 中津市
  4. 日山市
  5. 佐伯市
  6. 臼杵市
  7. 津久見市
  8. 竹田市
  9. 豊後高田市
  10. 杵築市
  11. 宇佐市
  12. 豊後大野市
  13. 山布市
  14. 国東市
  15. 姫島村
  16. H出町
  17. 九重町
  18. 玖珠町
- (3) あなたは運動やスポーツが好きですか。
1. 自分でするのも見るのも好き
  2. どちらかといえば自分でするの方が好き
  3. どちらかといえば見るの方が好き
  4. するのも見るのもきらい
  5. どちらともいえない
- (4) 運動・スポーツが好きな人だけ、運動・スポーツが好きな理由を全て教えてください。(複数回答)
1. うまくなったときの喜び
  2. ゲームに勝ったときの喜び
  3. 先生にほめてもらえる(もらえた)から
  4. 家族からほめてもらえる(もらえた)から
  5. からだが丈夫になるから
  6. 友達が増えるから
  7. ストレスの解消になるから
  8. 目立てるから
- (5) 運動・スポーツをするのも見るのもきらいな人だけ、きらいな理由を全て選んでください。(複数回答)
1. うまくできないから
  2. 競争することが好きではないから
  3. 先生におこられたことがあるから
  4. 家族からあまり進められてこなかったから
  5. からだが丈夫ではないから
  6. 仲間を作ることが苦手だから
  7. はじをかきたくないから
  8. 汗をかきたくないから
  9. 指導者(先生)がこわいから
  10. 他に好きなことがあるから
- (6) 運動・スポーツをするのも見るのもきらいな人だけ、きれいになったのはいつごろからか教えてください。
1. 小学校入学前
  2. 小学校低学年の頃
  3. 小学校高学年になってから
  4. 中学入学後
- (7) あなたは、体育の授業以外に、運動やスポーツをこの1年間にどのくらいのペースでしていましたか。
1. 週に3日以上ペース
  2. 週に1~2日のペース
  3. 月に1~3日のペース
  4. 3ヶ月に1~2回くらい
  5. 年に1~2回くらい
  6. しない
- (8) あなたは、これから先、運動やスポーツをどのくらいしたいと思っていますか。
1. 週に3日以上ペース
  2. 週に1~2日のペース
  3. 月に1~3日のペース
  4. 3ヶ月に1~2回くらい
  5. 年に1~2回くらい
  6. しない
- (9) あなたがこれからしたいと思う運動やスポーツを、全て選んでください。(複数回答)





(18) あなたが、体育の授業の好きなものを全て教えてください。(複数回答)

1. 体づくり運動
2. 器械運動
3. 陸上競技
4. 水泳
5. 球技
6. 武道
7. ダンス

(19) あなたは、家族と一緒に運動やスポーツをすることがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

(20) あなたは、学校の勉強が好きですか。

1. とても好きである
2. まあ好きである
3. あまり好きではない
4. まったく好きではない

(21) あなたは、大分県内で活動しているスポーツチーム（大分トリニータ、バサジィ大分、大分 B-リングス、スパークルおおいた）に対する応援の気持ちはどのくらいですか。

1. 熱心に応援している
2. まあまあ応援している
3. あまり関心がない
4. まったく関心がない

(22) あなたは、パラスポーツ大会（大分国際車いすマラソン大会等）を会場で見たことがありますか。

1. 見たことがある
2. 見たことがない

(23) あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。

1. 知っている
2. 聞いたことはある
3. 知らない
4. 総合型地域スポーツクラブに入っている

(24) あなたは、住んでいるところ（市町村）のことが好きですか。

1. 好き
2. まあまあ好き
3. きらい

(25) あなたは、毎日朝ごはんを食べていますか。

1. 毎日食べている
2. ときどき食べないことがある
3. あまり食べない

(26) あなたは、小学校の頃、外で遊んでいましたか。

1. よく遊んでいた
2. ときどき遊んでいた
3. あまり遊んでいない
4. まったく遊んでいない



## 令和7(2025)年度県民のスポーツ実態に関するアンケート調査 (Web 調査)

### ( 高校2年生用 )

- (1) あなたの性別を教えてください。
1. 男
  2. 女
  3. 答えたくない
- (2) あなたが住んでいる市町村を教えてください。
1. 大分市
  2. 別府市
  3. 中津市
  4. 日田市
  5. 佐伯市
  6. 臼杵市
  7. 津久見市
  8. 竹田市
  9. 豊後高田市
  10. 杵築市
  11. 宇佐市
  12. 豊後大野市
  13. 由布市
  14. 国東市
  15. 姫島村
  16. 日出町
  17. 九重町
  18. 玖珠町
- (3) あなたは運動やスポーツが好きですか。
1. 自分でするのも見るのも好き
  2. どちらかといえば自分でする方が好き
  3. どちらかといえば見る方が好き
  4. するのも見るのもきらい
  5. どちらともいえない
- (4) 運動・スポーツが好きな人だけ、運動・スポーツが好きな理由を全て教えてください。(複数回答)
1. うまくなったときの喜び
  2. ゲームに勝ったときの喜び
  3. 先生にほめてもらえる(もらえた)から
  4. 家族からほめてもらえる(もらえた)から
  5. からだが丈夫になるから
  6. 友達が増えるから
  7. ストレスの解消になるから
  8. 日立てるから
- (5) 運動・スポーツをするのも見るのもきらいな人だけ、きらいな理由を全て選んでください。(複数回答)
1. うまくできないから
  2. 競争することが好きではないから
  3. 先生におこられたことがあるから
  4. 家族からあまり進められてこなかったから
  5. からだが丈夫ではないから
  6. 仲間を作ることが苦手だから
  7. はじをかきたくないから
  8. 汗をかきたくないから
  9. 指導者(先生)がこわいから
  10. 他に好きなことがあるから
- (6) 運動・スポーツをするのも見るのもきらいな人だけ、きれいになったのはいつごろからか教えてください。
1. 小学校入学前
  2. 小学校低学年の頃
  3. 小学校高学年になってから
  4. 中学入学後
- (7) あなたは、体育の授業以外に、運動やスポーツをこの1年間にどのくらいのペースでしていましたか。
1. 週に3日以上ペース
  2. 週に1~2日のペース
  3. 月に1~3日のペース
  4. 3ヶ月に1~2回くらい
  5. 年に1~2回くらい
  6. しない
- (8) あなたは、これから先、運動やスポーツをどのくらいしたいと思っていますか。
1. 週に3日以上ペース
  2. 週に1~2日のペース
  3. 月に1~3日のペース
  4. 3ヶ月に1~2回くらい
  5. 年に1~2回くらい
  6. しない
- (9) あなたがこれからしたいと思う運動やスポーツを、全て選んでください。(複数回答)

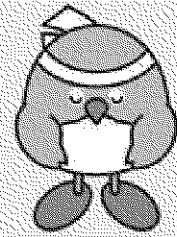




- (18) あなたが、体育の授業の好きなものを全て教えてください。(複数回答)
1. 体づくり運動
  2. 器械運動
  3. 陸上競技
  4. 水泳
  5. 球技
  6. 武道
  7. ダンス
- (19) あなたは、家族と一緒に運動やスポーツをすることがありますか。
1. よくある
  2. ときどきある
  3. あまりない
  4. まったくない
- (20) あなたは、学校の勉強が好きですか。
1. とても好きである
  2. まあ好きである
  3. あまり好きではない
  4. まったく好きではない
- (21) あなたは、大分県内で活動しているスポーツチーム（大分トリニータ、バサジィ大分、大分 B-リングス、スパークルおおいた）に対する応援の気持ちはどのくらいですか。
1. 熱心に応援している
  2. まあまあ応援している
  3. あまり関心がない
  4. まったく関心がない
- (22) あなたは、パラスポーツ大会（大分国際車いすマラソン大会等）を会場で見たことがありますか。
1. 見たことがある
  2. 見たことがない
- (23) あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。
1. 知っている
  2. 聞いたことはある
  3. 知らない
  4. 総合型地域スポーツクラブに入っている
- (24) あなたは、住んでいるところ（市町村）のことが好きですか。
1. 好き
  2. まあまあ好き
  3. きらい
- (25) あなたは、毎日朝ごはんを食べていますか。
1. 毎日食べている
  2. ときどき食べないことがある
  3. あまり食べない
- (26) あなたは、小学校の頃、外で遊んでいましたか。
1. よく遊んでいた
  2. ときどき遊んでいた
  3. あまり遊んでいない
  4. まったく遊んでいない



# 大分県教育委員会から アンケート ご協力をお願い



案内チラシ  
(小学生)

これからの大分県のスポーツのあり方について  
みなさんからの意見を募集します！

大分県教育委員会では、大分県のスポーツに関する計画をつくっています。  
大分県のスポーツをより良くするために、みなさんが好きなスポーツやスポーツに関する考え方など、意見を聞かせてください。

- 1 期間：令和7年10月16日（木）～令和7年11月7日（金）
- 2 対象：県内の学校に通う児童生徒  
(小学校5年生・中学校2年生・高校2年生)
- 3 回答：①学校配備のタブレット端末等から以下の二次元方法  
コードを読み取るか、URLを入力してください。  
アンケートに移ります。  
②アンケートは無記名です。だれがどのような回答をしたか分かりません。すべての回答が終了したら、Googleフォーム上の送信ボタンをタップしてください。



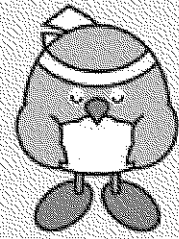
<https://forms.gle/W8hTHPvTM5ggbIE5A>

- 4 お願い ※回答は1人につき1回です。(全26問)

【担当】大分県教育庁体育保健課



# 大分県教育委員会から アンケート ご協力をお願い

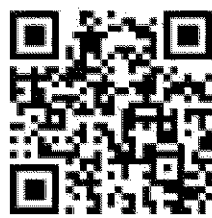
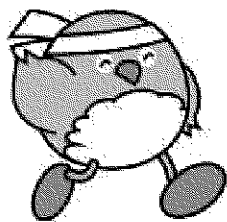


案内チラシ  
(中学生)

これからの大分県のスポーツのあり方について  
みなさんからの意見を募集します！

大分県教育委員会では、大分県のスポーツに関する計画をつくっています。  
大分県のスポーツをより良くするために、みなさんが好きなスポーツやスポーツに関する考え方など、意見を聞かせてください。

- 1 期間：令和7年10月16日（木）～令和7年11月7日（金）
- 2 対象：県内の学校に通う児童生徒  
(小学校5年生・中学校2年生・高校2年生)
- 3 回答：①学校配備のタブレット端末等から以下の二次元方法  
コードを読み取るか、URLを入力してください。  
アンケートに移ります。  
②アンケートは無記名です。だれがどのような回答をしたか分かりません。すべての回答が終了したら、Googleフォーム上の送信ボタンをタップしてください。



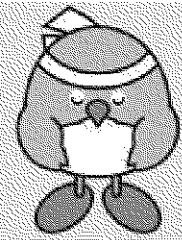
<https://forms.gle/xmZXy7FCDXKjQY6s9>

4 お願い ※回答は1人につき1回です。(全26問)

【担当】大分県教育庁体育保健課



# 大分県教育委員会から アンケート ご協力をお願い

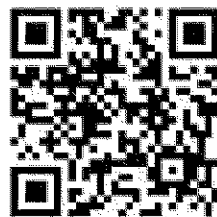
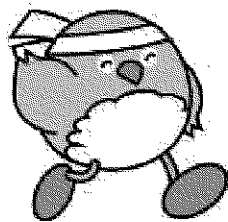


案内チラシ  
(高校生)

これからの大分県のスポーツのあり方について  
みなさんからの意見を募集します！

大分県教育委員会では、大分県のスポーツに関する計画をつくっています。  
大分県のスポーツをより良くするために、みなさんが好きなスポーツやスポーツに関する考え方など、意見を聞かせてください。

- 1 期間：令和7年10月16日（金）～令和7年11月7日（金）
- 2 対象：県内の学校に通う児童生徒  
(小学校5年生・中学校2年生・高校2年生)
- 3 回答：①学校配備のタブレット端末等から以下の二次元方法  
コードを読み取るか、URLを入力してください。  
アンケートに移ります。  
②アンケートは無記名です。だれがどのような回答をしたか分かりません。すべての回答が終了したら、Googleフォーム上の送信ボタンをタップしてください。



<https://forms.gle/aWDGXET9ENx9TviE6>

- 4 お願い ※回答は1人につき1回です。(全26問)

【担当】大分県教育庁体育保健課